

# 第6期 高松市高齢者保健福祉計画

## 実施状況報告書

(平成27年度分)

平成29年1月

高松市

目 次

1	計画の概要	1
2	高齢者の状況	2
3	日常生活圏域	7
4	施策の体系	19
5	施策の展開	21
6	介護保険事業の取組	85

# 1 計画の概要

## 1 計画の基本理念

高齢者が住み慣れた地域で共に支えあい、  
健康で生きがいを持ち、尊厳を保ちながら、  
安心して暮らし続けられる社会の実現

## 2 計画の目標

健康と生きがいづくり

安心して暮らせる地域づくり

安全で住みよい環境づくり

## 3 計画の重点課題

- ① 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進
- ② 健康づくり等と社会活動への参加の推進
- ③ 生活環境の整備推進

## 4 第6期計画の成果指標

指標名(単位)	平成25年度	26年度	27年度	29年度
市民満足度調査(高齢者の生活支援と社会活動への参加の促進) (%)	51.0	52.9	54.2	60.0
介護・支援を必要としていない高齢者の割合(自立高齢者率) (%)	79.0	79.1	78.9	78.0
介護・支援を必要としていない後期高齢者の割合(自立後期高齢者率) (%)	62.4	61.7	61.0	59.0
生きがいがある高齢者の割合 (%)	78.5	—	—	82.0

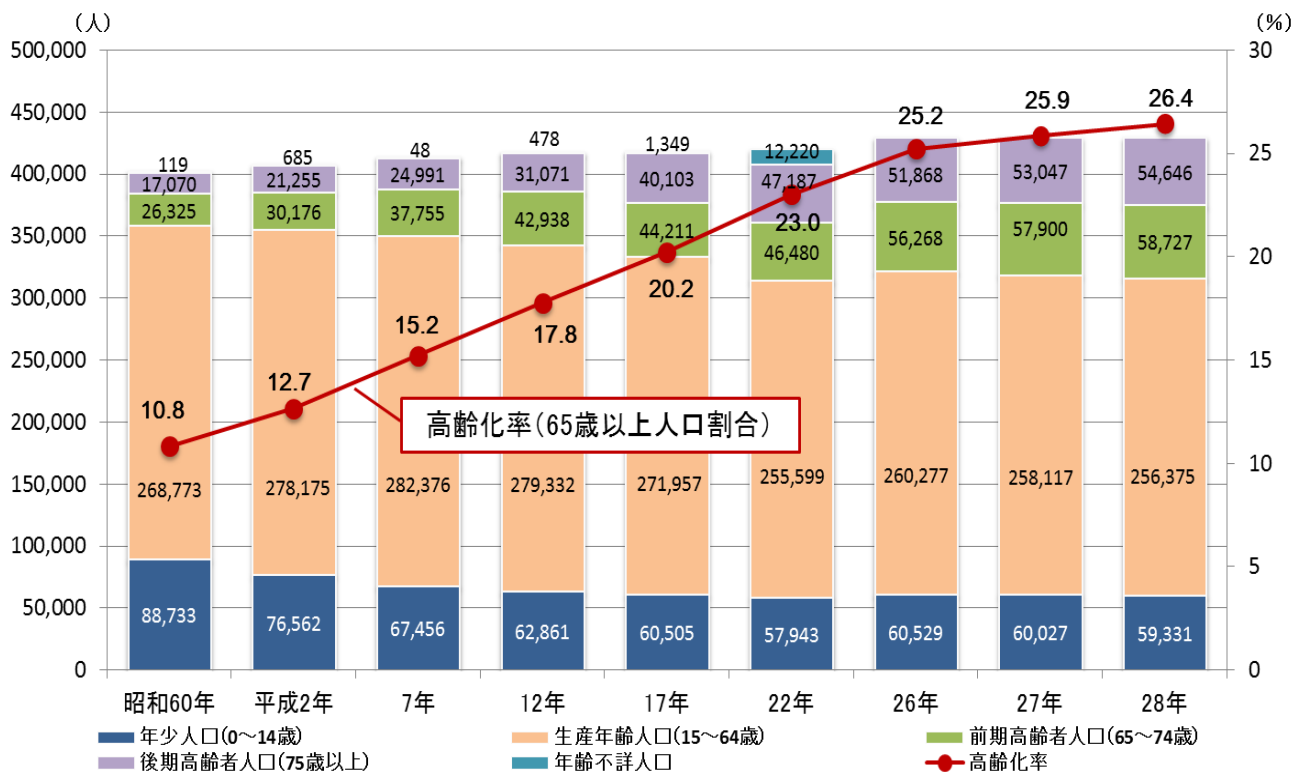
※「生きがいがある高齢者の割合」については、高齢者の暮らしと介護に関するアンケート調査により確認することから、平成26・27年度の実績はありません。

## 2 高齢者の状況

### 1 人口の推移

平成28年10月1日で、本市の総人口は429,079人となり、年齢構成別にみると、年少人口（0～14歳）は59,331人、生産年齢人口（15～64歳）は256,375人、高齢者人口（65歳以上）は、前期高齢者（65～74歳）が58,727人、後期高齢者（75歳以上）が54,646人となっています。また、高齢者の人口構成比（高齢化率）は26.4%となっており、市民の4人に1人が65歳以上という、本格的な超高齢社会を迎えています。

【人口構成の推移】



## 2 高齢者世帯の推移

平成 27 (2015) 年の高齢者のいる世帯数は 70,037 世帯で、総世帯の 38.5%となっており、高齢化の進展に伴い、高齢者のいる世帯数と総世帯に占める割合は、ともに増加傾向にあります。

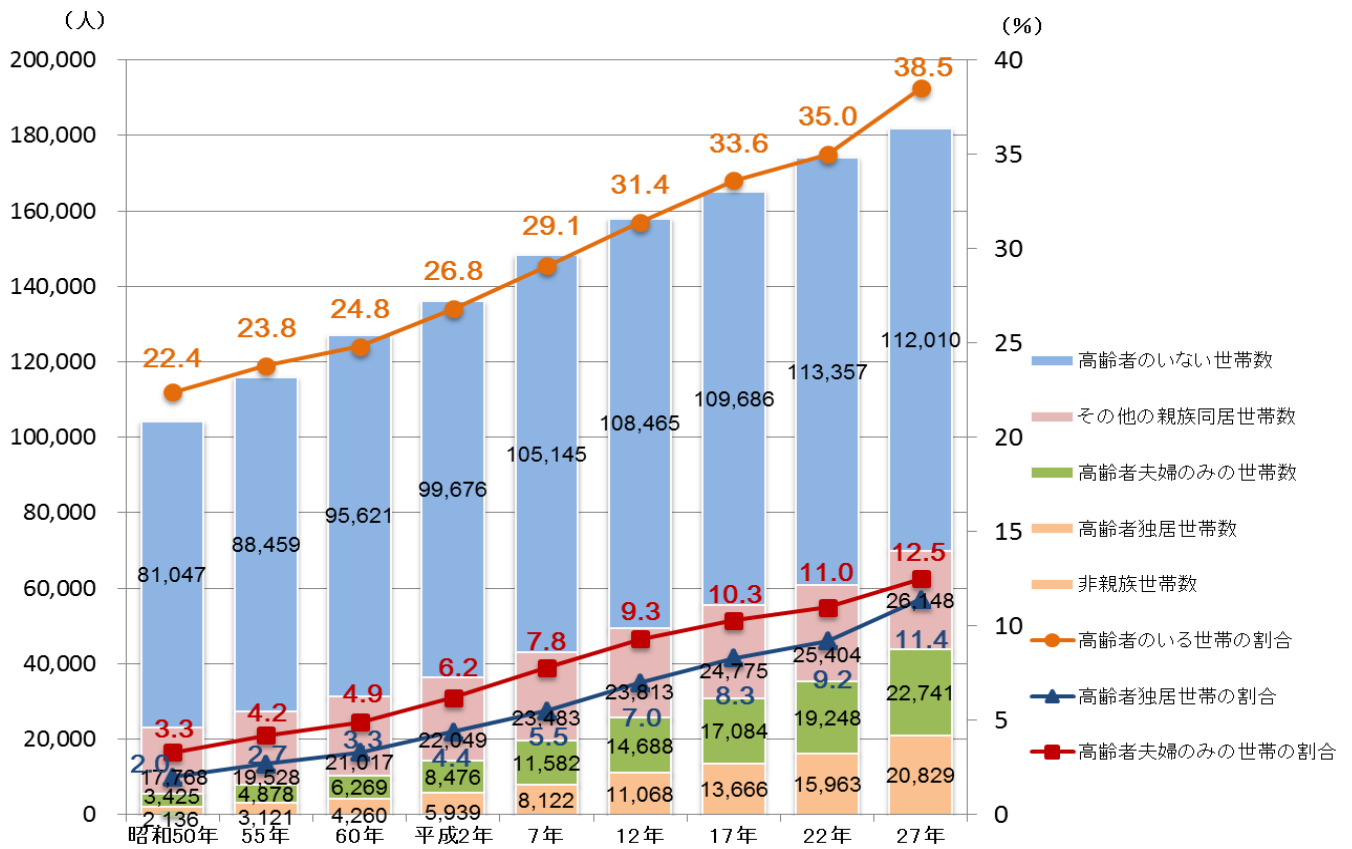
また、平成 27 年の総世帯に占める高齢者のみの世帯は 23.9%となっています。

### 【高齢者のいる世帯の推移】

(単位：世帯、%)

年次	総世帯	高齢者のいる世帯	単独世帯・親族世帯				非親族世帯
			高齢者のみの世帯			その他の親族同居世帯	
			ひとり暮らし世帯	夫婦のみ世帯			
昭和 50 年 (1975 年)	104,394	23,347 (22.4)	23,329 (22.3)	2,136 (2.0)	3,425 (3.3)	17,768 (17.0)	18 (0.0)
55 年 (1980 年)	116,022	27,563 (23.8)	27,527 (23.7)	3,121 (2.7)	4,878 (4.2)	19,528 (16.8)	36 (0.0)
60 年 (1985 年)	127,203	31,582 (24.8)	31,546 (24.8)	4,260 (3.3)	6,269 (4.9)	21,017 (16.5)	36 (0.0)
平成 2 年 (1990 年)	136,178	36,502 (26.8)	36,464 (26.8)	5,939 (4.4)	8,476 (6.2)	22,049 (16.2)	38 (0.0)
7 年 (1995 年)	148,371	43,226 (29.1)	43,187 (29.1)	8,122 (5.5)	11,582 (7.8)	23,483 (15.8)	39 (0.0)
12 年 (2000 年)	158,091	49,626 (31.4)	49,569 (31.4)	11,068 (7.0)	14,688 (9.3)	23,813 (15.1)	57 (0.0)
17 年 (2005 年)	165,275	55,589 (33.6)	55,525 (33.6)	13,666 (8.3)	17,084 (10.3)	24,775 (15.0)	64 (0.0)
22 年 (2010 年)	174,278	60,921 (35.0)	60,615 (34.8)	15,963 (9.2)	19,248 (11.0)	25,404 (14.6)	306 (0.2)
27 年 (2015 年)	182,047	70,037 (38.5)	69,718 (38.3)	20,829 (11.4)	22,741 (12.5)	26,148 (14.4)	319 (0.2)
香川県 27 年 (2015 年)	398,551	180,429 (45.3)	179,685 (45.1)	48,194 (9.2)	56,151 (12.1)	75,340 (18.9)	744 (0.2)
全国 27 年 (2015 年)	53,448,685	21,713,308 (35.0)	21,582,467 (34.8)	5,927,686 (9.2)	6,420,243 (11.0)	9,234,538 (14.6)	130,841 (0.2)

※( )内は、「総世帯」を 100.0%とした場合の構成比



### 3 在宅ひとり暮らし高齢者及び寝たきり高齢者の推移

【在宅ひとり暮らし高齢者及び寝たきり高齢者の推移】

(各年9月1日現在 単位：人)

区分	平成22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ひとり暮らし高齢者	8,647	9,324	9,431	9,542	9,630	9,596
寝たきり高齢者	733	762	712	621	524	461

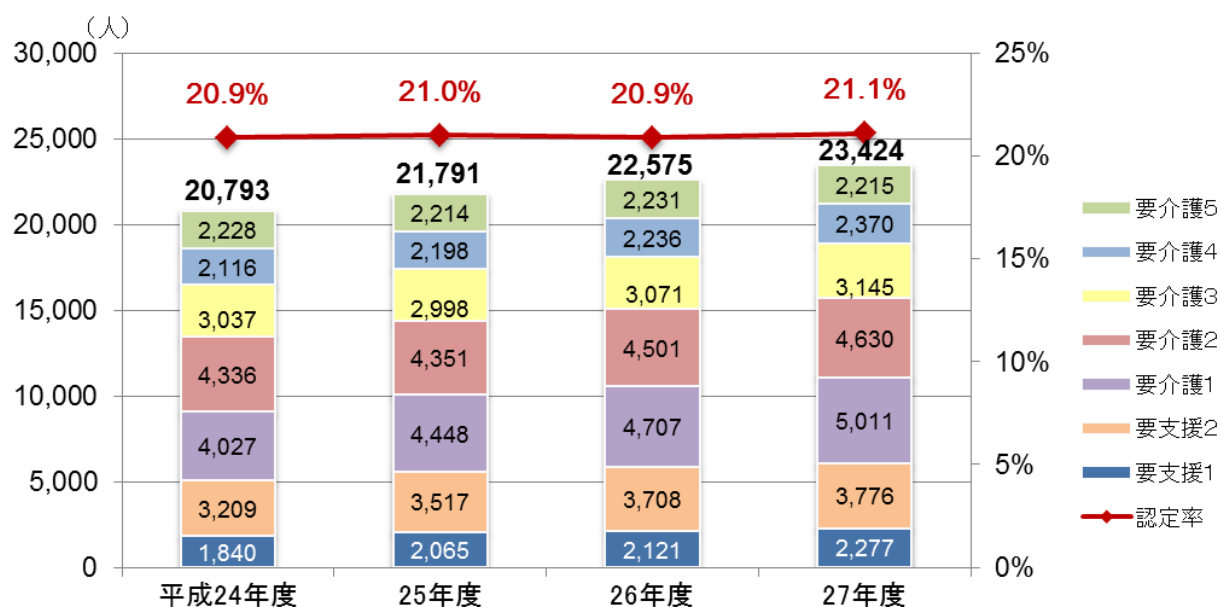
資料：要援護高齢者名簿 登録情報

## 4 要介護（要支援）認定者数の推移

【第1号被保険者の要介護（要支援）認定者数の推移（要介護度別）】

（各年10月1日現在 単位：人）

区 分	平 成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
要支援 1	1,840	2,065	2,121	2,277
要支援 2	3,209	3,517	3,708	3,776
要介護 1	4,027	4,448	4,707	5,011
要介護 2	4,336	4,351	4,501	4,630
要介護 3	3,037	2,998	3,071	3,145
要介護 4	2,116	2,198	2,236	2,370
要介護 5	2,228	2,214	2,231	2,215
合 計	20,793	21,791	22,575	23,424



## 5 認知症高齢者等の推移

### 【認知症高齢者等の推移】

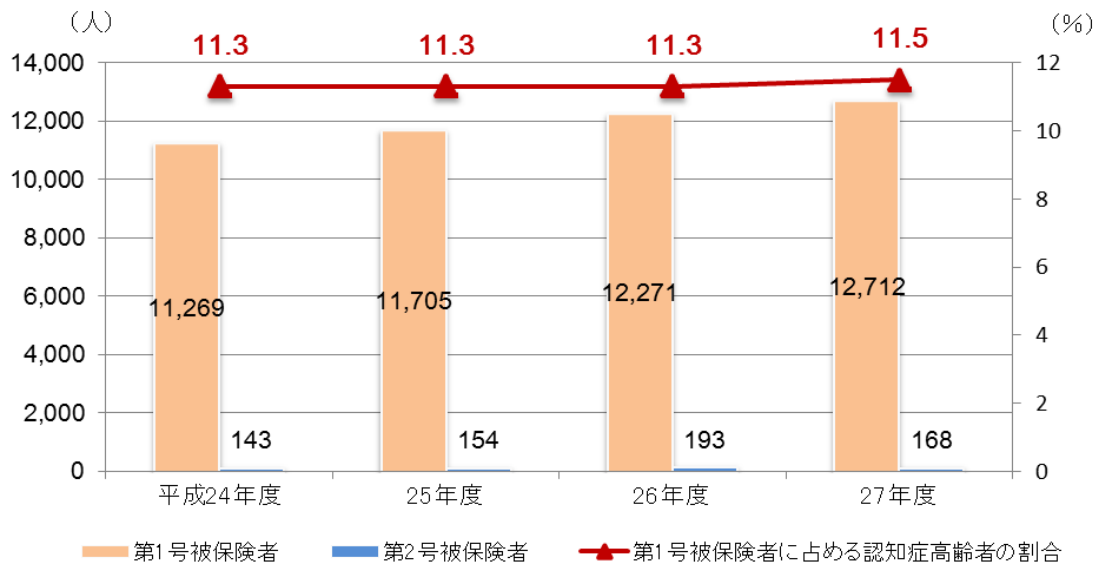
(各年10月1日現在 単位：人)

区 分	平 成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
第 1 号被保険者	11,269	11,705	12,271	12,712
第 2 号被保険者	143	154	193	168
合 計	11,412	11,859	12,464	12,880

(各年10月1日現在 単位：%)

区 分	平 成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
第1号被保険者に占める認知症の人※の割合	11.3	11.3	11.3	11.5

※ここでの「認知症」とは、要介護(要支援)認定者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上を指す。





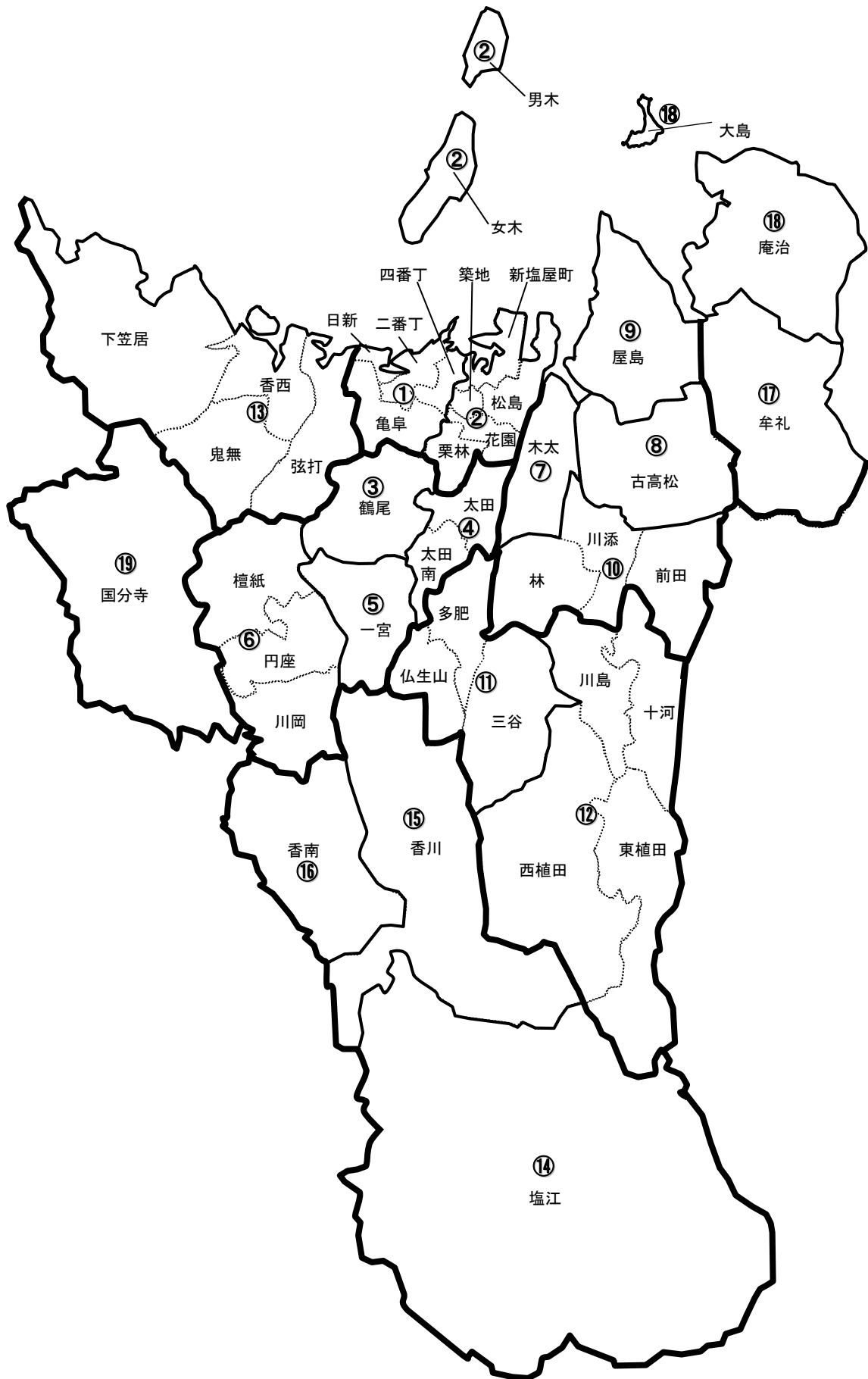
# 3 日常生活圏域

## 1 日常生活圏域、地域包括支援センター管轄地域

【地域包括支援センター管轄地域】

管轄するセンター	日常生活圏域	地区	窓口（老人介護支援センター）		
(中央)	①中央西	日新、二番丁、亀阜、四番丁	さぬき、あかね		
	②中央東	新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木	玉藻荘、はなぞの園、高松市社会福祉協議会、ほのぼの		
サ	一宮	③鶴尾	鶴尾	西春日	
		④太田	太田、太田南	おりいぶ荘	
		⑤一宮	一宮	一宮の里	
		⑥香東	川岡、円座、檀紙	岡本荘、大寿苑	
ブ	古高松	⑦木太	木太	法寿苑、さくら荘	
		⑧古高松	古高松	香色苑	
		⑨屋島	屋島	逅里苑	
		⑩協和	前田、川添、林	弘恩苑、さくら荘	
セ	山田	⑪龍雲	三谷、仏生山、多肥	竜雲舜虹苑、なでしこ香川	
		⑫山田	川島、十河、西植田、東植田	すみれ荘、高松さんさん荘	
ン	勝賀	⑬勝賀・下笠居	香西、弦打、鬼無、下笠居	ヨハネの里、大寿苑、ハピネス	
	タ	香川	⑭塩江	塩江	高松市社会福祉協議会塩江
			⑮香川	香川	高松市社会福祉協議会香川
			⑯香南	香南	高松市社会福祉協議会香南
	イ	牟礼	⑰牟礼	牟礼	守里苑
			⑱庵治	庵治	あじの里
	国分寺	⑲国分寺	国分寺	高松市社会福祉協議会国分寺	

【日常生活圏域】



## 2 日常生活圏域ごとの状況

### (1) 総人口（分布率）推移

(各年 10 月 1 日現在/単位：人(%))

日常生活圏域	平成 24 年度		25 年度		26 年度		27 年度	
	総人口	分布率	総人口	分布率	総人口	分布率	総人口	分布率
① 中央西	33,393	(7.8)	33,151	(7.7)	32,934	(7.7)	33,022	(7.7)
② 中央東	43,675	(10.2)	43,818	(10.2)	43,501	(10.1)	43,145	(10.1)
③ 鶴尾	10,753	(2.5)	10,664	(2.5)	10,581	(2.5)	10,416	(2.4)
④ 太田	36,430	(8.5)	36,795	(8.6)	36,980	(8.6)	37,291	(8.7)
⑤ 一宮	15,835	(3.7)	15,681	(3.7)	15,733	(3.7)	15,759	(3.7)
⑥ 香東	22,809	(5.3)	23,052	(5.4)	23,234	(5.4)	23,367	(5.4)
⑦ 木太	32,079	(7.5)	32,097	(7.5)	32,345	(7.5)	32,280	(7.5)
⑧ 古高松	21,412	(5.0)	21,495	(5.0)	21,539	(5.0)	21,590	(5.0)
⑨ 屋島	21,115	(4.9)	21,058	(4.9)	20,962	(4.9)	20,854	(4.9)
⑩ 協和	25,178	(5.9)	25,739	(6.0)	26,084	(6.1)	26,659	(6.2)
⑪ 龍雲	24,913	(5.8)	25,325	(5.9)	25,586	(6.0)	25,938	(6.0)
⑫ 山田	23,024	(5.4)	22,875	(5.3)	22,906	(5.3)	22,843	(5.3)
⑬ 勝賀・ 下笠居	33,498	(7.8)	33,325	(7.8)	33,274	(7.8)	33,203	(7.7)
⑭ 塩江	3,057	(0.7)	2,983	(0.7)	2,876	(0.7)	2,836	(0.7)
⑮ 香川	24,426	(5.7)	24,275	(5.7)	24,302	(5.7)	24,110	(5.6)
⑯ 香南	7,763	(1.8)	7,714	(1.8)	7,656	(1.8)	7,572	(1.8)
⑰ 牟礼	18,282	(4.3)	18,091	(4.2)	17,821	(4.2)	17,765	(4.1)
⑱ 庵治	5,749	(1.3)	5,647	(1.3)	5,516	(1.3)	5,394	(1.3)
⑲ 国分寺	25,085	(5.9)	25,098	(5.9)	25,112	(5.9)	25,047	(5.8)
合 計	428,476		428,883		428,942		429,091	

※分布率は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。

## (2) 高齢者人口（高齢化率※）推移

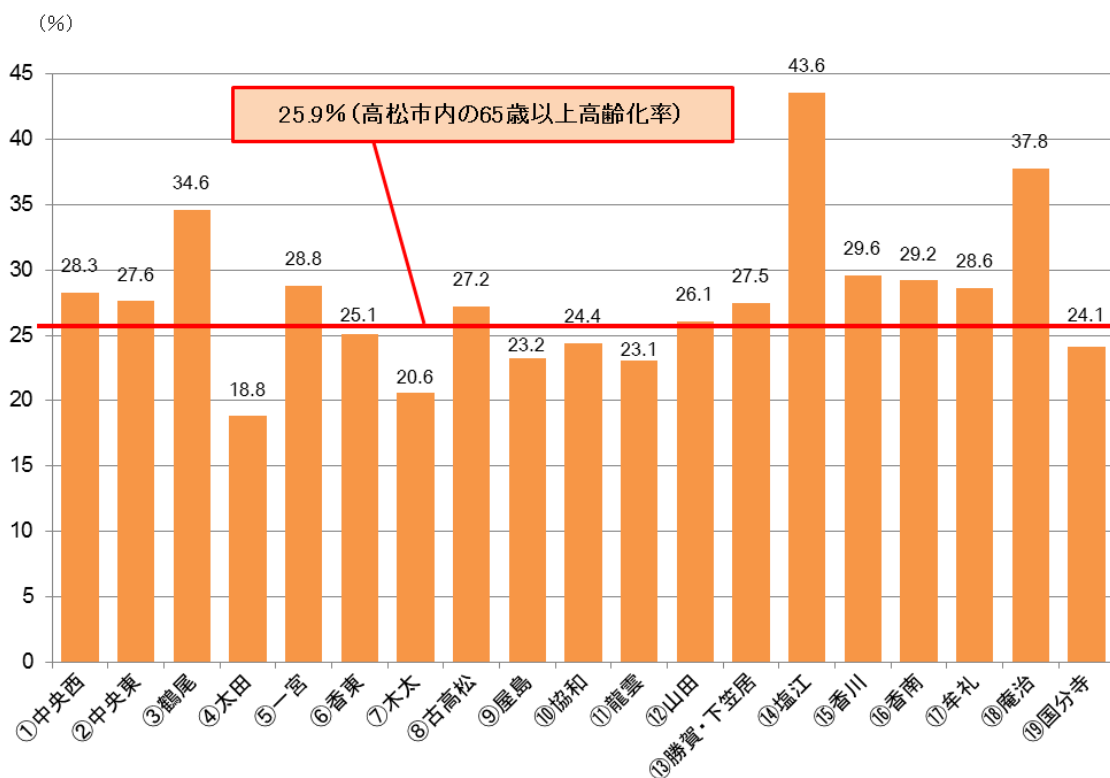
（各年10月1日現在/単位：人(%)）

日常生活圏域	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
① 中央西	8,569 (25.7)	4,692 (14.1)	8,829 (26.6)	4,729 (14.3)	9,167 (27.8)	4,723 (14.3)	9,347 (28.3)	4,765 (14.4)
② 中央東	11,282 (25.8)	6,351 (14.5)	11,547 (26.4)	6,424 (14.7)	11,773 (27.1)	6,382 (14.7)	11,907 (27.6)	6,392 (14.8)
③ 鶴尾	3,355 (31.2)	1,648 (15.3)	3,460 (32.4)	1,679 (15.7)	3,553 (33.6)	1,702 (16.1)	3,601 (34.6)	1,720 (16.5)
④ 太田	6,140 (16.9)	3,124 (8.6)	6,433 (17.5)	3,233 (8.8)	6,769 (18.3)	3,319 (9.0)	7,019 (18.8)	3,447 (9.2)
⑤ 一宮	4,114 (26.0)	2,043 (12.9)	4,262 (27.2)	2,091 (13.3)	4,448 (28.3)	2,140 (13.6)	4,543 (28.8)	2,189 (13.9)
⑥ 香東	5,195 (22.8)	2,623 (11.5)	5,423 (23.5)	2,663 (11.6)	5,680 (24.4)	2,711 (11.7)	5,856 (25.1)	2,800 (12.0)
⑦ 木太	5,736 (17.9)	2,697 (8.4)	6,097 (19.0)	2,805 (8.7)	6,426 (19.9)	2,874 (8.9)	6,636 (20.6)	2,974 (9.2)
⑧ 古高松	5,206 (24.3)	2,450 (11.4)	5,460 (25.4)	2,514 (11.7)	5,713 (26.5)	2,564 (11.9)	5,868 (27.2)	2,649 (12.3)
⑨ 屋島	4,099 (19.4)	1,929 (9.1)	4,347 (20.6)	1,990 (9.5)	4,639 (22.1)	2,085 (9.9)	4,844 (23.2)	2,185 (10.5)
⑩ 協和	5,821 (23.1)	2,898 (11.5)	6,082 (23.6)	2,923 (11.4)	6,352 (24.4)	2,983 (11.4)	6,496 (24.4)	3,070 (11.5)
⑪ 龍雲	5,425 (21.8)	2,852 (11.4)	5,677 (22.4)	2,938 (11.6)	5,875 (23.0)	2,989 (11.7)	5,989 (23.1)	3,041 (11.7)
⑫ 山田	5,276 (22.9)	2,663 (11.6)	5,519 (24.1)	2,720 (11.9)	5,787 (25.3)	2,760 (12.0)	5,965 (26.1)	2,815 (12.3)
⑬ 勝賀・ 下笠居	8,249 (24.6)	4,064 (12.1)	8,569 (25.7)	4,149 (12.5)	8,919 (26.8)	4,214 (12.7)	9,140 (27.5)	4,323 (13.0)
⑭ 塩江	1,227 (40.1)	820 (26.8)	1,225 (41.1)	827 (27.7)	1,233 (42.9)	808 (28.1)	1,236 (43.6)	812 (28.6)
⑮ 香川	6,129 (25.1)	2,751 (11.3)	6,508 (26.8)	2,820 (11.6)	6,891 (28.4)	2,893 (11.9)	7,148 (29.6)	2,988 (12.4)
⑯ 香南	1,946 (25.1)	973 (12.5)	2,029 (26.3)	969 (12.6)	2,136 (27.9)	979 (12.8)	2,210 (29.2)	1,001 (13.2)
⑰ 牟礼	4,491 (24.6)	2,099 (11.5)	4,686 (25.9)	2,150 (11.9)	4,911 (27.6)	2,211 (12.4)	5,072 (28.6)	2,294 (12.9)
⑱ 庵治	1,914 (33.3)	1,038 (18.1)	1,955 (34.6)	1,047 (18.5)	2,032 (36.8)	1,051 (19.1)	2,038 (37.8)	1,036 (19.2)
⑲ 国分寺	5,290 (21.1)	2,434 (9.7)	5,527 (22.0)	2,459 (9.8)	5,832 (23.2)	2,480 (9.9)	6,032 (24.1)	2,546 (10.2)
合 計	99,464 (23.2)	50,149 (11.7)	103,635 (24.2)	51,130 (11.9)	108,136 (25.2)	51,868 (12.1)	110,947 (25.9)	53,047 (12.4)

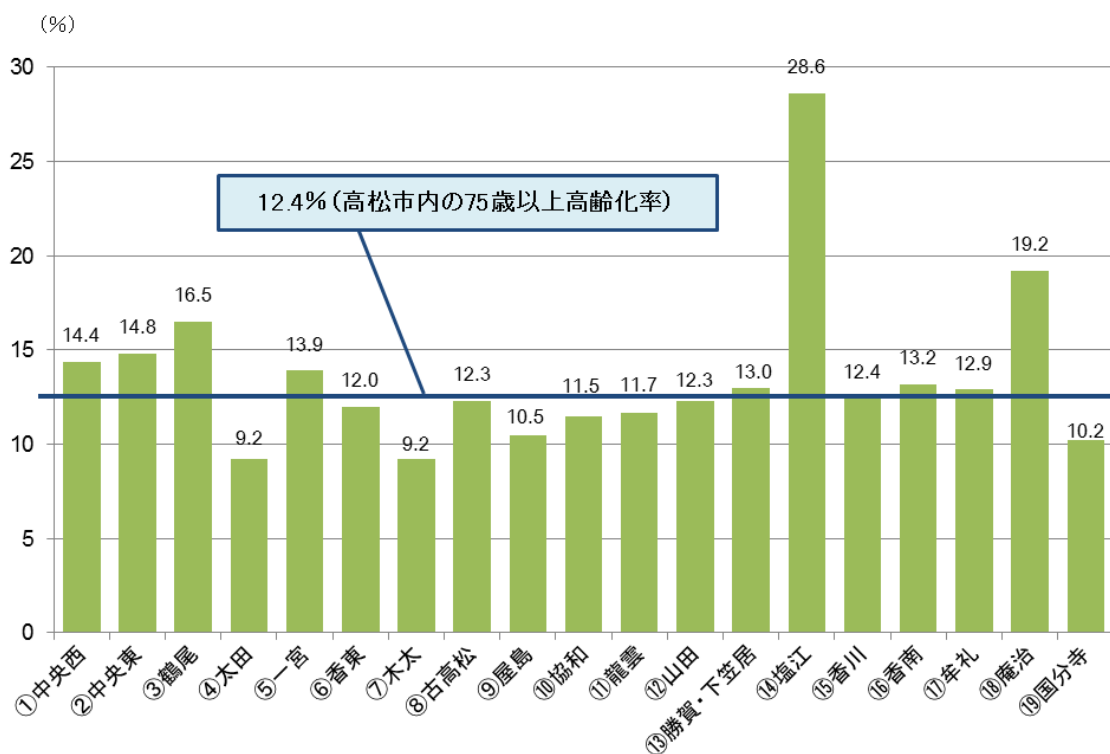
※総人口のうち、65歳以上及び75歳以上高齢者がそれぞれ占める割合

## ○日常生活圏域別 高齢化率比較（平成 27 年度）

< 65 歳以上高齢化率 >



< 75 歳以上高齢化率 >



### (3) 第1号被保険者の要介護(要支援)認定者数(高齢者人口に占める割合※1)推移

(各年10月1日現在/単位:人(%))

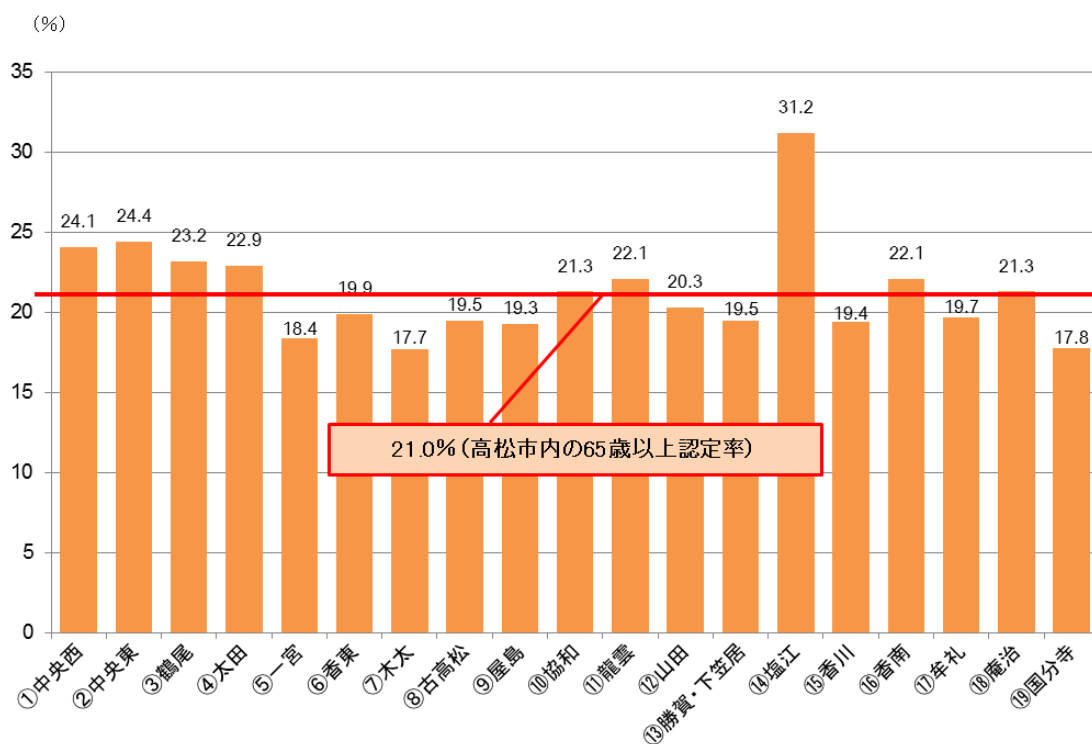
日常生活圏域	平成24年度		25年度		26年度※2		27年度	
	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
①中央西	2,116 (24.7)	1,919 (40.9)	2,154 (24.4)	1,951 (41.3)	2,181 (23.8)	1,966 (41.6)	2,248 (24.1)	2,008 (42.1)
②中央東	2,601 (23.1)	2,346 (36.9)	2,716 (23.5)	2,439 (38.0)	2,819 (23.9)	2,520 (39.5)	2,900 (24.4)	2,594 (40.6)
③ 鶴尾	800 (23.8)	695 (42.2)	824 (23.8)	697 (41.5)	824 (23.2)	686 (40.3)	834 (23.2)	705 (41.0)
④ 太田	1,208 (19.7)	1,071 (34.3)	1,334 (20.7)	1,176 (36.4)	1,508 (22.3)	1,344 (40.5)	1,610 (22.9)	1,421 (41.2)
⑤ 一宮	818 (19.9)	723 (35.4)	827 (19.4)	730 (34.9)	829 (18.6)	727 (34.0)	837 (18.4)	744 (34.0)
⑥ 香東	1,068 (20.6)	959 (36.6)	1,108 (20.4)	994 (37.3)	1,141 (20.1)	1,035 (38.2)	1,163 (19.9)	1,049 (37.5)
⑦ 木太	1,070 (18.7)	935 (34.7)	1,158 (19.0)	1,005 (35.8)	1,141 (17.8)	987 (34.3)	1,174 (17.7)	1,030 (34.6)
⑧古高松	1,024 (19.7)	913 (37.3)	1,075 (19.7)	957 (38.1)	1,103 (19.3)	980 (38.2)	1,146 (19.5)	1,012 (38.2)
⑨ 屋島	813 (19.8)	693 (35.9)	835 (19.2)	709 (35.6)	879 (18.9)	760 (36.5)	934 (19.3)	810 (37.1)
⑩ 協和	1,242 (21.3)	1,090 (37.6)	1,311 (21.6)	1,139 (39.0)	1,370 (21.6)	1,183 (39.7)	1,382 (21.3)	1,198 (39.0)
⑪ 龍雲	1,167 (21.5)	1,046 (36.7)	1,249 (22.0)	1,120 (38.1)	1,279 (21.8)	1,151 (38.5)	1,323 (22.1)	1,182 (38.9)
⑫ 山田	1,156 (21.9)	1,046 (39.3)	1,171 (21.2)	1,059 (38.9)	1,189 (20.5)	1,071 (38.8)	1,213 (20.3)	1,084 (38.5)
⑬勝賀・下笠居	1,610 (19.5)	1,394 (34.3)	1,704 (19.9)	1,486 (35.8)	1,727 (19.4)	1,503 (35.7)	1,785 (19.5)	1,553 (35.9)
⑭ 塩江	343 (28.0)	318 (38.8)	363 (29.6)	340 (41.1)	363 (29.4)	337 (41.7)	386 (31.2)	358 (44.1)
⑮ 香川	1,182 (19.3)	1,019 (37.0)	1,266 (19.5)	1,082 (38.4)	1,295 (18.8)	1,103 (38.1)	1,388 (19.4)	1,196 (40.0)
⑯ 香南	437 (22.5)	396 (40.7)	440 (21.7)	390 (40.2)	462 (21.6)	406 (41.5)	488 (22.1)	433 (43.3)
⑰ 牟礼	817 (18.2)	691 (32.9)	890 (19.0)	760 (35.3)	921 (18.8)	792 (35.8)	1,000 (19.7)	867 (37.8)
⑱ 庵治	392 (20.5)	355 (34.2)	406 (20.8)	376 (35.9)	437 (21.5)	399 (38.0)	434 (21.3)	390 (37.6)
⑲国分寺	929 (17.6)	811 (33.3)	960 (17.4)	835 (34.0)	972 (16.7)	835 (33.7)	1,073 (17.8)	921 (36.2)
合 計	20,793 (20.9)	18,420 (36.7)	21,791 (21.0)	19,245 (37.6)	22,440 (20.8)	19,785 (38.1)	23,318 (21.0)	20,555 (38.7)

※1 65歳以上、75歳以上人口それぞれにおいて、要介護(要支援)認定者数が占める割合

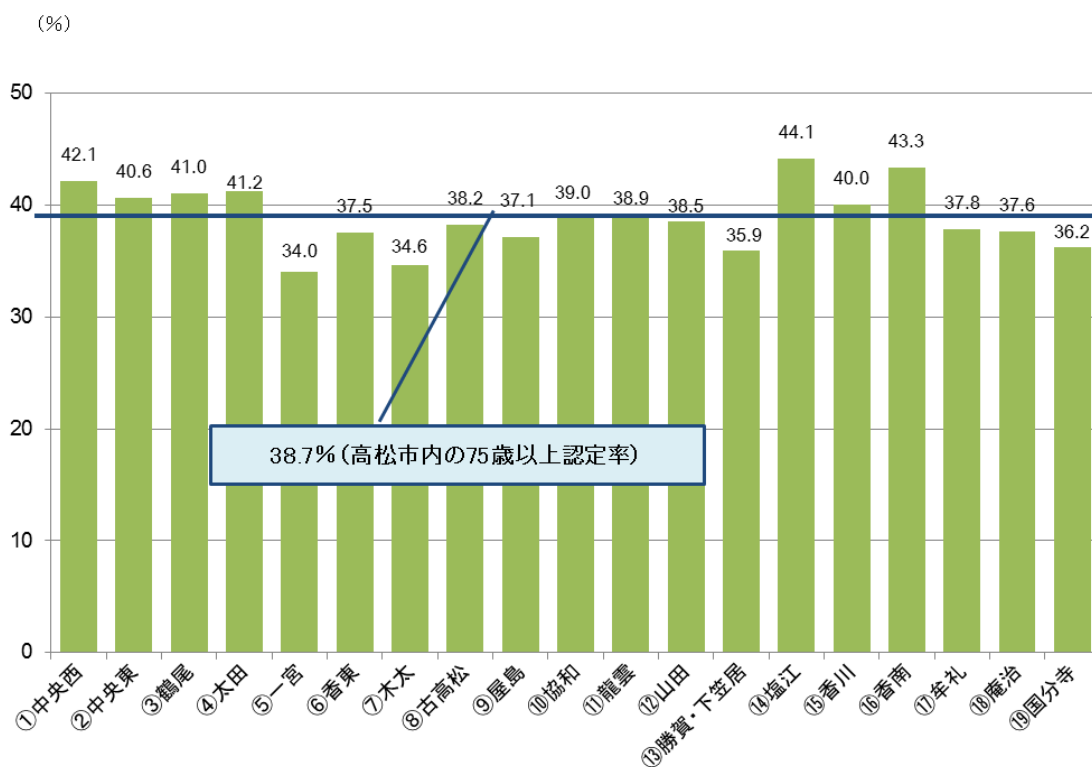
※2 平成26・27年度については、住所地特例対象者を除く

## ○日常生活圏域別 認定率比較（平成 27 年度）

< 65 歳以上認定率 >

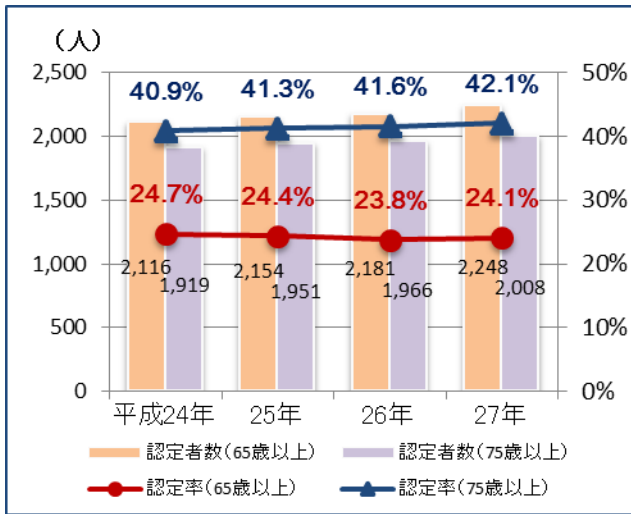


< 75 歳以上認定率 >

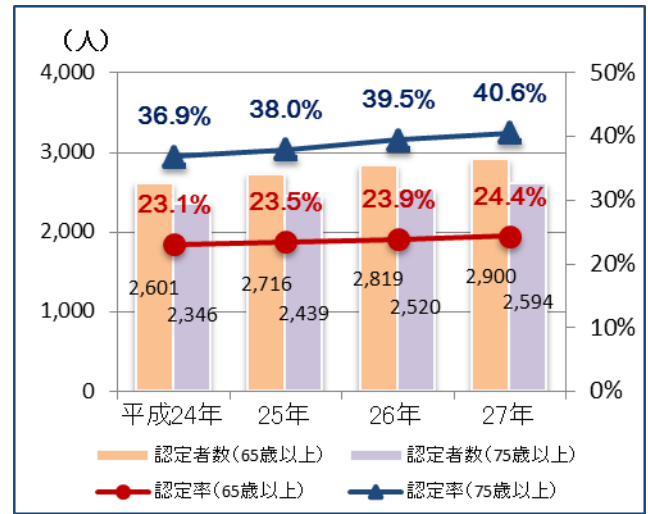


## ○日常生活圏域別 認定率推移

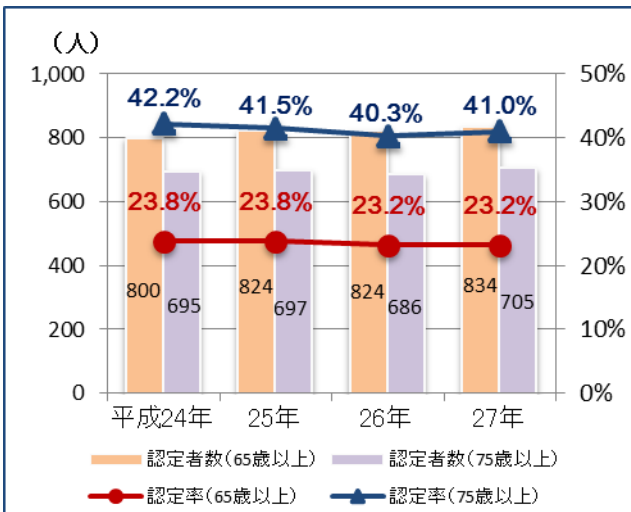
<①中央西>



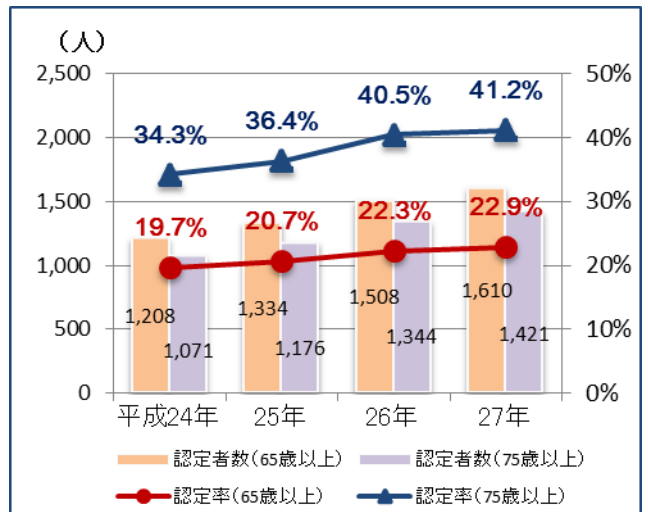
<②中央東>



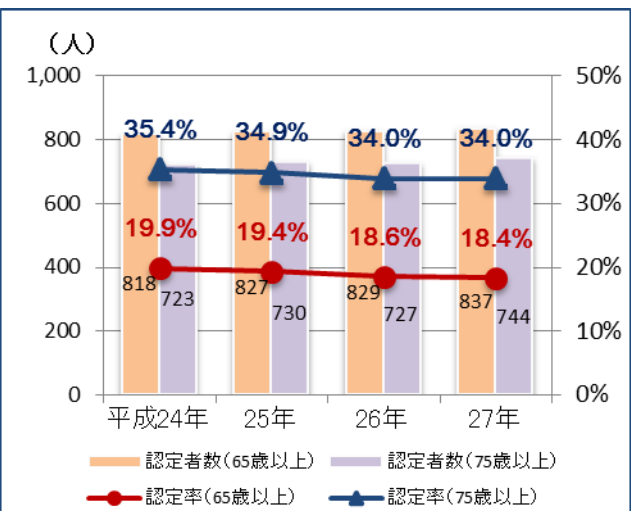
<③鶴尾>



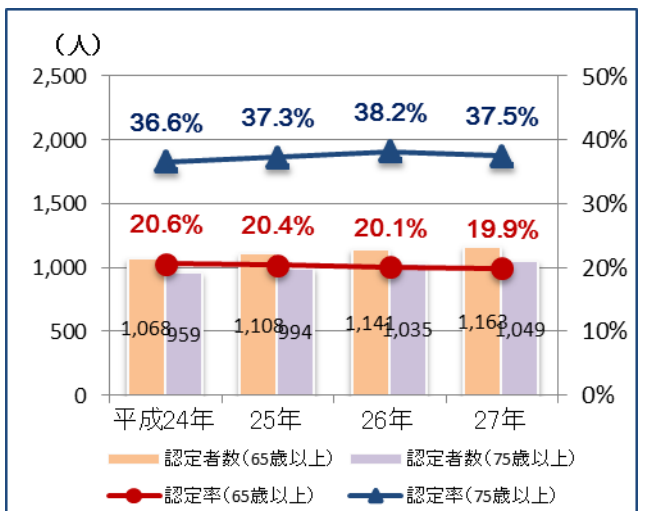
<④太田>



<⑤一宮>

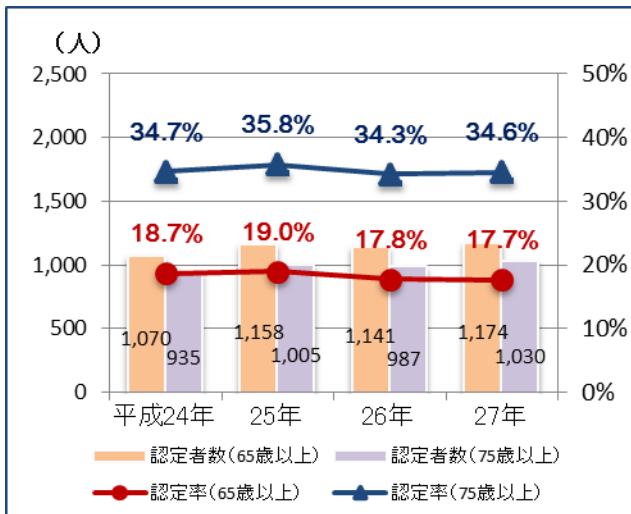


<⑥香東>

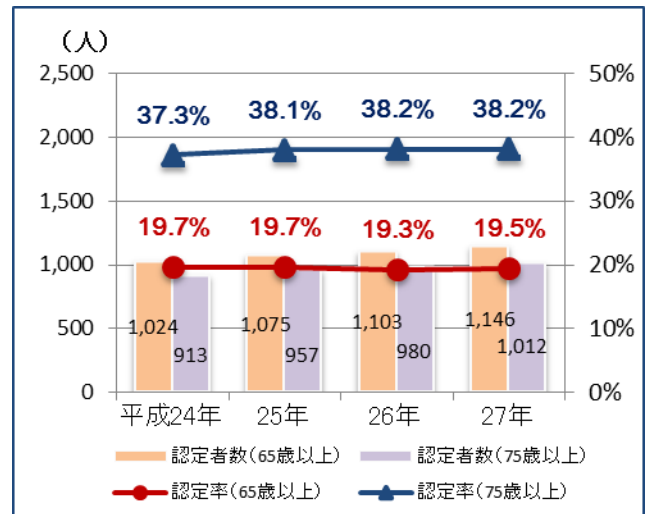




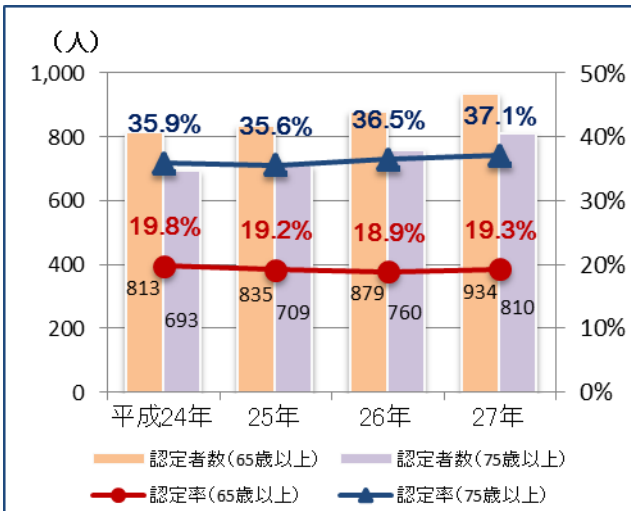
<⑦木太>



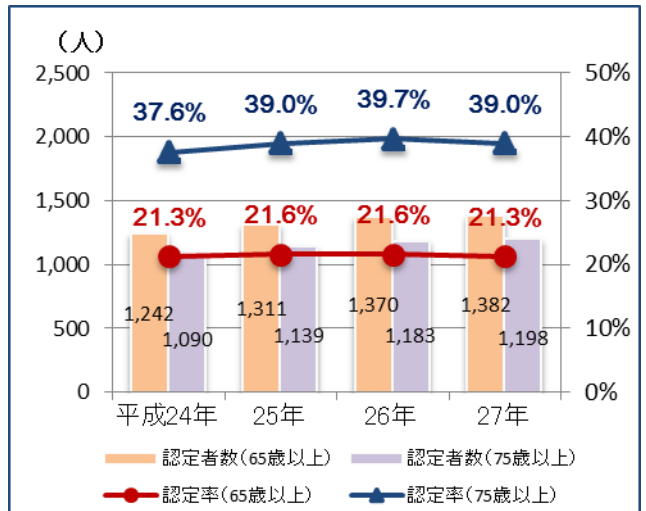
<⑧古高松>



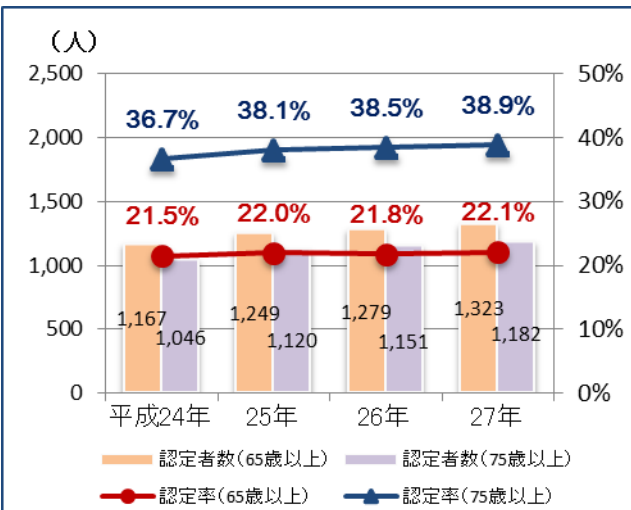
<⑨屋島>



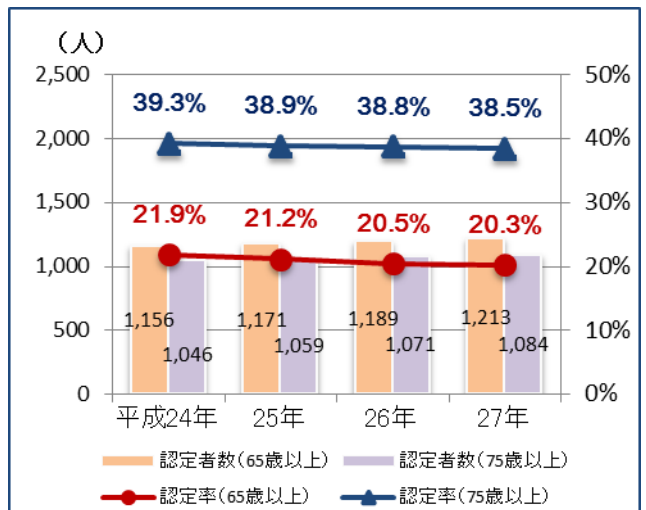
<⑩協和>



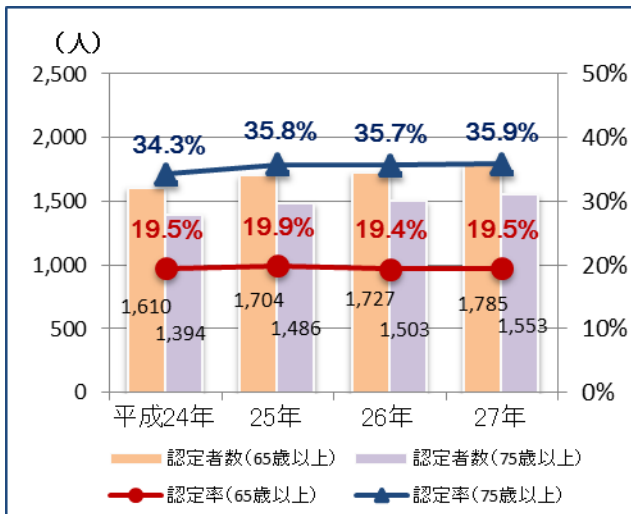
<⑪龍雲>



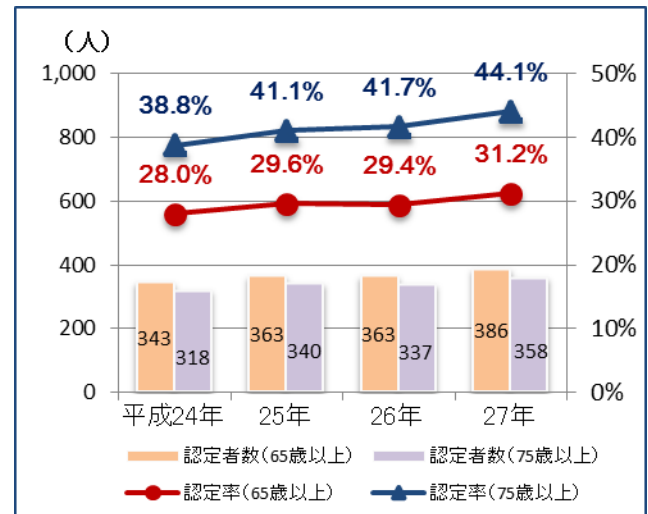
<⑫山田>



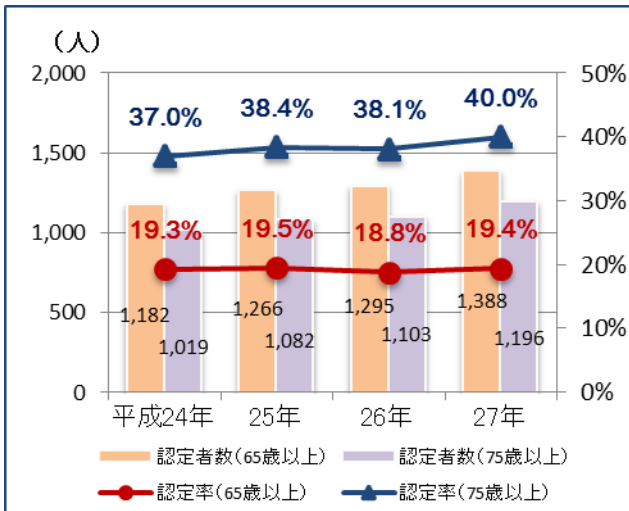
<⑬勝賀・下笠居>



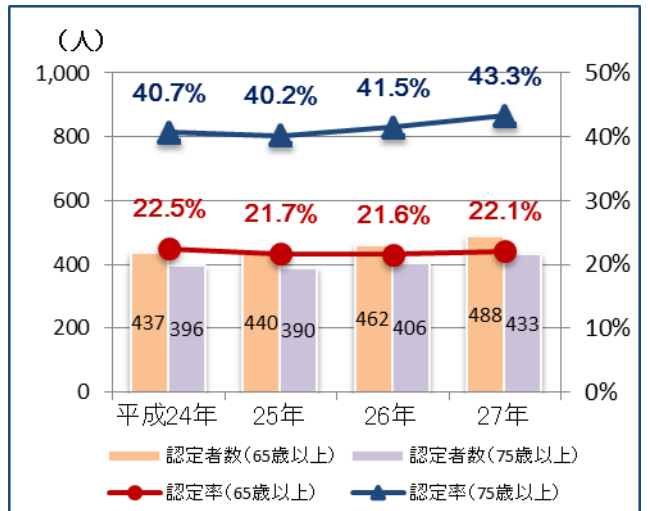
<⑭塩江>



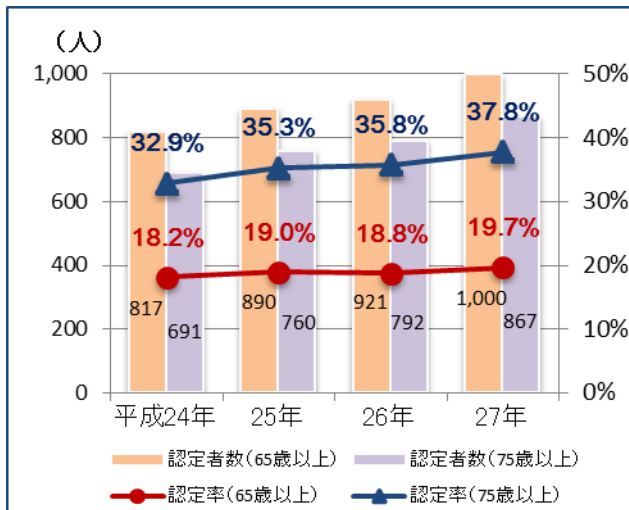
<⑮香川>



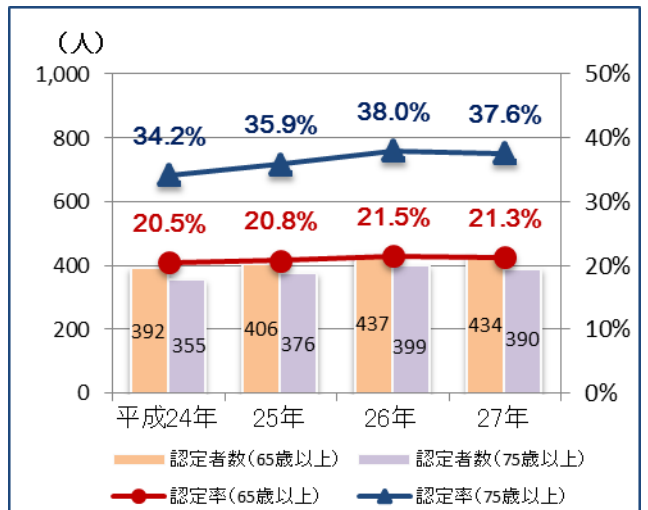
<⑯香南>



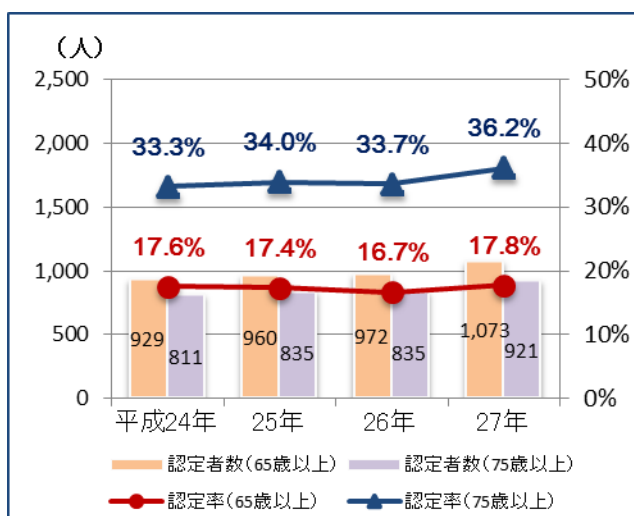
<⑰牟礼>



<⑱庵治>

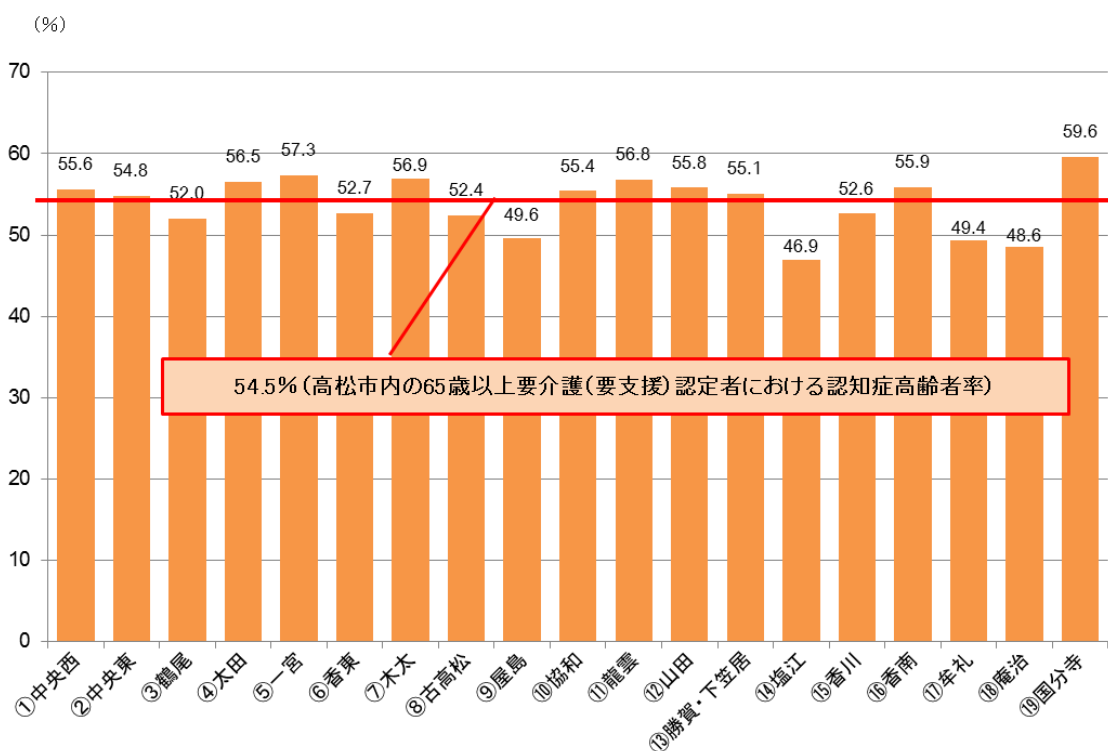


< ⑱国分寺 >



○日常生活圏域別 認知症高齢者率比較 (平成 27 年度)

< 65 歳以上認知症高齢者率 >



#### (4) 第1号被保険者・第2号被保険者の要介護（要支援）認定者における 認知症高齢者等の推移

(各年10月1日現在/単位：人)

日常生活圏域	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	65歳以上	40歳以上 65歳未満	65歳以上	40歳以上 65歳未満	65歳以上	40歳以上 65歳未満	65歳以上	40歳以上 65歳未満
① 中央西	1,139	15	1,146	17	1,228	22	1,250	15
② 中央東	1,338	10	1,408	15	1,483	23	1,590	21
③ 鶴尾	405	7	414	6	423	9	434	9
④ 太田	684	6	751	5	828	4	909	8
⑤ 一宮	449	4	450	3	471	4	480	6
⑥ 香東	561	12	618	15	599	15	613	8
⑦ 木太	586	9	638	10	687	13	668	7
⑧ 古高松	540	10	546	8	581	9	600	14
⑨ 屋島	420	5	404	7	442	8	463	5
⑩ 協和	661	9	709	11	765	12	766	12
⑪ 龍雲	685	7	720	11	746	12	751	6
⑫ 山田	636	7	645	6	654	10	677	6
⑬ 勝賀・ 下笠居	919	12	931	11	947	11	983	11
⑭ 塩江	161	1	178	3	175	3	181	4
⑮ 香川	633	2	676	3	693	8	730	10
⑯ 香南	267	5	260	5	272	6	273	2
⑰ 牟礼	421	9	454	9	475	13	494	13
⑱ 庵治	203	2	197	1	214	1	211	1
⑲ 国分寺	561	11	560	8	588	10	639	10
合 計	11,269	143	11,705	154	12,271	193	12,712	168

※「認知症高齢者日常生活自立度」Ⅱ以上

# 4 施策の体系

<基本理念>

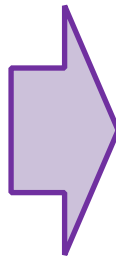
高齢者が住み慣れた地域で共に支えあい、  
健康で生きがいを持ち、尊厳を保ちながら、  
安心して暮らし続けられる社会の実現

<計画の目標>

健康と生きがいづくり

安心して暮らせる  
地域づくり

安全で住みよい  
環境づくり



<重点課題>

<施策>

地域包括ケアシステムの  
構築に向けた取組の推進

- ア 在宅医療・介護連携の充実
- イ 介護保険サービスの充実
- ウ 介護予防の推進
- エ 社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充
- オ 住まいの整備・充実
- カ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- キ 認知症施策の推進
- ク 高齢者虐待の防止
- ケ 地域包括支援センターの運営強化

健康づくり等と  
社会活動への参加の推進

- ア 健康都市推進ビジョンの推進
- イ 感染症予防の充実
- ウ 生涯学習の推進
- エ 生涯スポーツの推進
- オ 社会活動への参加促進

生活環境の整備推進

- ア 公共交通機関の充実
- イ ふれあいの場の確保
- ウ 老人介護支援センターとの連携等の強化
- エ 災害時の援護体制の充実
- オ 市民活動団体との連携等の強化
- カ 福祉意識の醸成・啓発
- キ 安全で住みよい環境づくりの推進

# 5 施策の展開

## 計画の目標 健康と生きがいづくり

### 重点課題 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進

#### ア 在宅医療・介護連携の充実

高齢化が急速に進行する中で、地域では多くの疾患や不安を持つ高齢者が増えることとなります。その中で、高齢者の疾患が、急性的に悪化した場合に、早く入院治療を受け、できる限り早く生活の場へと戻ることが、介護の重度化と生活機能の低下防止に不可欠です。

これらを実現していくため、高齢者は日ごろから、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師等を持ち、疾患等の状態変化を把握しやすくするとともに、疾患のある高齢者を支える入院医療・在宅医療・介護の場において、それぞれに従事する医師・看護師・薬剤師・理学療法士・介護支援専門員・介護福祉士等の多職種が連携し、チームとなって機能する仕組みづくりが重要となります。

今後、県が策定する地域医療構想(ビジョン)や介護保険事業支援計画等との整合性を図りながら、在宅医療・介護連携事業の推進に取り組めます。

#### 主な事業の実施状況

##### ① 医療介護連携事業

###### 事業内容

###### (1) 在宅医療連携会議の設置・運営

在宅医療従事者等で構成する「在宅医療連携会議」を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、意見交換、多職種間のネットワーク構築など、情報の共有と連携強化を推進していきます。

###### (2) 医療介護連携強化に向けての研修会・講演会等の開催

- ・退院支援に資する連携体制を構築するための支援
- ・多職種連携のための研修
- ・介護支援専門員を支援するための研修

などに取り組み、在宅医療と介護の連携強化に努めます。

※高松市医師会への委託事業として実施します。

## 事業実績

在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、平成 26 年 9 月に、医療機関、介護事業者等で構成される「在宅医療連携会議」を設置し、在宅医療と介護に関わる者の情報共有と連携の強化に向けた関係団体の連絡調整を行うほか、平成 30（2018）年度までに次の 8 項目に取り組むこととしています。

### （ア） 地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関・介護事業者等の情報に加え、訪問理美容や配食サービス等のインフォーマルサービスを掲載する「在宅ケア便利帳」を平成 28 年度に作成し、市内の医療・介護関係者に配布します。なお、27 年度は、在宅医療連携会議において、掲載機関、掲載事項等の検討を行いました。

### （イ） 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

「在宅医療連携会議」において、取り組むべき 8 項目についての検討や情報交換・情報共有を行います。なお、27 年度は、6 回の会議を開催しました。

### （ウ） 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療と介護が切れ目なく提供される体制の構築を目指した取組を行います。なお、27 年度は、「在宅医療連携会議」において、実施事業を検討しました。

### （エ） 医療・介護関係者の情報共有の支援

患者・利用者の在宅療養生活を支えるために、状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われるための取組を行います。なお、27 年度は、「在宅医療連携会議」において、実施事業を検討しました。

### （オ） 在宅医療・介護連携に関する相談支援

患者の受ける医療サービスと介護サービスの橋渡し役を務めることを目的とした「在宅医療コーディネーター」を養成します。なお、27 年度は、高松市医師会を実施主体として、6 回の研修を実施し、全てを受講した 38 人をコーディネーターとして認定しました。

### （カ） 医療・介護関係者の研修

多職種が連携するための研修を行い、地域の医療・介護関係者が、お互いの業務を知り、忌憚のない意見交換ができる関係を構築する等、現場レベルで医療と介護の連携が促進されるような研修を実施します。なお、27 年度は、多職種連携のための研修会を開催し、170 人の参加がありました。

### （キ） 地域住民への普及啓発

地域住民が、在宅医療や介護、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解し、在宅療養が必要になった時に必要なサービスを適切に選択できるように啓発します。なお、27 年度は、「在宅医療連携会議」において実施事業を検討し、28 年度に市民公開講座を実施することとしました。

### （ク） 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

同一医療圏の三木町及び直島町と協議し、情報交換等を行います。なお、27 年度は、実施方法を検討し、28 年度から実施することとしました。



## イ 介護保険サービスの充実

これまで、日本では“介護は家庭(家族)の問題”という意識がありました。しかし、世界一の長寿国となり、寝たきりや認知症の高齢者の増加、介護の長期化など、介護の必要性や重要性がますます高まるとともに、介護する側の高齢化なども深刻な問題となり、女性の社会進出や都市化の進展など、家族だけで介護することが困難な時代を迎えたことにより、介護保険制度が作られることとなりました。

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を、社会全体で支えていく仕組みです。介護が必要になるのは限られた人だけでなく、誰にでもその可能性(リスク)があります。このようなリスクを多くの人で負担しあうことで、万が一介護が必要になったときに、必要なサービスを受けられるようにする制度です。

介護保険で受けられる介護サービスには、大きく分けて「居宅サービス」と「地域密着型サービス」と「施設サービス」の3つがあります。

### 主な事業の実施状況

#### ① 訪問介護（介護・予防給付）

##### 事業内容

利用者の居宅において、訪問介護員等（ホームヘルパー）が、入浴・排せつ・食事などの身体介護や、調理・洗濯・掃除などの生活援助を行います。

介護予防訪問介護は、平成 28(2016)年 10 月に、予防給付から市町村が実施する地域支援事業へ、段階的に移行します。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
訪問介護(回/月)	86,297	92,729	97,625	141,115
	<b>60,492</b>			
	70.1%	%	%	%
介護予防訪問介護(人/月)	1,438	739	-	-
	<b>1,422</b>			
	98.9%	%	%	%

## ② 訪問入浴介護（介護・予防給付）

### 事業内容

利用者の身体の清潔の保持や心身機能の維持等を図るため、利用者の居室に訪問入浴車で浴槽を持ち込み、入浴の援助を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
訪問入浴介護 (回/月)	1,014	1,052	1,052	1,323
	899			
	88.7%	%	%	%
介護予防訪問入浴介護 (回/月)	-	-	-	-
	0			
	%	%	%	%

## ③ 訪問看護（介護・予防給付）

### 事業内容

利用者の居宅において、看護師等（保健師・看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が、医師の指示に基づく病状の観察や床ずれの手当てなど、療養上の世話や診療の補助を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
訪問看護(回/月)	6,151	7,264	8,260	14,676
	5,591			
	90.9%	%	%	%
介護予防訪問看護(回/月)	399	891	1,005	3,227
	99			
	24.8%	%	%	%

#### ④ 訪問リハビリテーション（介護・予防給付）

##### 事業内容

利用者の居宅において、その心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため、専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行います。

##### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
訪問リハビリテーション (回/月)	2,881	3,251	3,614	6,416
	<b>1,310</b>			
	45.5%	%	%	%
介護予防訪問リハビリテーション(回/月)	85	127	163	435
	<b>29</b>			
	34.1%	%	%	%

#### ⑤ 居宅療養管理指導（介護・予防給付）

##### 事業内容

利用者の療養生活の質の向上を図るため、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士等が、通院が困難な利用者の居宅を訪問し、心身の状況や環境等を把握した上で、必要な健康管理や保健指導を行います。

##### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
居宅療養管理指導 (人/月)	2,192	2,434	2,731	4,127
	<b>2,493</b>			
	113.7%	%	%	%
介護予防居宅療養管理指導 (人/月)	34	32	34	53
	<b>41</b>			
	120.6%	%	%	%

## ⑥ 通所介護（介護・予防給付）

### 事業内容

デイサービスセンターなどに日帰りで通う利用者に、入浴・排せつ・食事等の介護のほか、生活等に関する相談・助言や健康状態の確認、また、日常生活上の世話や機能訓練を行います。

介護予防通所介護については、平成 28(2016)年 10 月に、予防給付から市町村が実施する地域支援事業へ、段階的に移行します。

また、小規模な通所介護事業所は、平成 28 年度から、地域との連携や運営の透明性を確保するため、地域密着型サービスに移行するほか、サービスの質の向上のため、大規模事業所などのサテライト事業所に移行します。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
通所介護(回/月)	61,823	35,658	37,795	60,329
	<b>64,252</b>			
	103.9%	%	%	%
介護予防通所介護(人/月)	2,298	1,322	-	-
	<b>2,193</b>			
	95.4%	%	%	%

## ⑦ 通所リハビリテーション（介護・予防給付）

### 事業内容

介護老人保健施設や医療機関などに日帰りで通う利用者に、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため、理学療法や作業療法などのリハビリテーションを行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
通所リハビリテーション(回/月)	18,825	19,431	20,275	27,260
	<b>17,970</b>			
	95.5%	%	%	%
介護予防通所リハビリテーション(人/月)	644	662	697	989
	<b>605</b>			
	93.9%	%	%	%

## ⑧ 短期入所生活介護（介護・予防給付）

### 事業内容

利用者の心身の機能の維持や介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るため、老人短期入所施設や介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などに短期間入所する利用者に、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他の日常生活上の世話と機能訓練を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
短期入所生活介護 （日/月）	24,338	27,476	28,510	48,925
	<b>26,723</b>			
	109.8%	%	%	%
介護予防短期入所生活介護 （日/月）	65	128	173	450
	<b>72</b>			
	110.8%	%	%	%

## ⑨ 短期入所療養介護（介護・予防給付）

### 事業内容

利用者の療養生活の質の向上や介護者の身体的、精神的負担の軽減を図るため、介護老人保健施設や医療機関などに短期間入所する利用者に、看護、医学的管理下の介護と機能訓練、その他の必要な医療や日常生活上の世話を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
短期入所療養介護 （日/月）	468	339	267	343
	<b>725</b>			
	154.9%	%	%	%
介護予防短期入所療養介護 （日/月）	-	-	-	-
	<b>2</b>			
	-%	%	%	%

## ⑩ 特定施設入居者生活介護（介護・予防給付）

### 事業内容

有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）のうち、特定施設入居者生活介護事業所の指定を受けた施設に入所する利用者に、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
特定施設入居者生活介護 (人/月)	666	669	670	715
	<b>693</b>			
	104.1%	%	%	%
介護予防特定施設入居者 生活介護(人/月)	40	38	39	52
	<b>38</b>			
	95.0%	%	%	%
混合型特定施設入居者 生活介護(人/月) (予防給付も含む)	661	662	664	722
	<b>686</b>			
	103.8%	%	%	%

## ⑪ 福祉用具貸与（介護・予防給付）

### 事業内容

要介護状態の軽減や悪化の防止と、介護者の負担の軽減を図るため、利用者の心身の状況や希望等を踏まえた適切な用具の選定の援助、取付け、調整等を行って、車いすや特殊寝台、歩行器など、日常生活の自立を支える福祉用具を貸与します。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
福祉用具貸与 (人/月)	6,067	6,292	6,487	8,016
	<b>6,531</b>			
	107.6%	%	%	%
介護予防福祉用具貸与 (人/月)	1,100	1,208	1,313	1,978
	<b>1,198</b>			
	108.9%	%	%	%

## ⑫ 特定福祉用具購入費の支給（介護・予防給付）

### 事業内容

日常生活上の便宜や介護者の負担の軽減を図るため、利用者の心身の状況や希望等を踏まえた適切な用具の選定の援助、取付け、調整を行って、腰掛便座や入浴補助用具など、特定福祉用具を販売します。

特定福祉用具は、貸与になじまない、入浴や排せつに用いる福祉用具で、厚生労働大臣が定めるものです。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
特定福祉用具 購入費(人/月)	130	140	143	184
	118			
	90.8%	%	%	%
特定介護予防福祉用具 購入費(人/月)	52	54	58	82
	40			
	76.9%	%	%	%

## ⑬ 住宅改修費の支給（介護・予防給付）

### 事業内容

居宅における安全で快適な生活のため、利用者が手すりの取付けや段差の解消など、居住する住宅の改修を行ったときに、必要な費用の一部を支給します。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
住宅改修費 (人/月)	100	105	111	163
	101			
	101.0%	%	%	%
介護予防住宅改修費 (人/月)	54	55	60	82
	50			
	92.6%	%	%	%

## ⑭ 居宅介護支援（介護・予防給付）

### 事業内容

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、居宅の要介護（要支援）の高齢者が居宅サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境や希望を踏まえたサービス利用計画を作成するとともに、計画に基づくサービス提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整や介護保険施設等への紹介を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
居宅介護支援 (人/月)	10,888	11,238	11,472	14,266
	<b>11,109</b>			
	102.0%	%	%	%
介護予防支援 (人/月)	4,057	2,800	1,583	3,627
	<b>3,992</b>			
	98.4%	%	%	%

## ⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（介護給付）

### 事業内容

重度者を始めとした要介護者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又は密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行います

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護(人/月)	25	88	127	182
	<b>16</b>			
	64.0%	%	%	%



⑩ 夜間対応型訪問介護（介護給付）

事業内容

夜間の定期的な巡回訪問又は随時の通報により、要介護者の自宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護やその他の日常生活上の世話などを行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
夜間対応型訪問介護 (人/月)	149	152	151	168
	177			
	118.8%	%	%	%

⑪ 認知症対応型通所介護（介護・予防給付）

事業内容

認知症高齢者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持、家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、デイサービスセンターなどに日帰りで通う利用者に、必要な日常生活上の世話や機能訓練を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
認知症対応型 通所介護(回/月)	3,176	3,545	4,084	4,569
	2,663			
	83.8%	%	%	%
介護予防認知症対応型 通所介護(回/月)	0	0	0	0
	8			
	%	%	%	%

⑱ 小規模多機能型居宅介護（介護・予防給付）

事業内容

「通い」を中心に、利用者の様態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、サービスを複合的に提供し、家庭的な環境や地域住民との交流のもと、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話や機能訓練を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
小規模多機能型 居宅介護(人/月)	265	277	293	357
	<b>258</b>			
	97.4%	%	%	%
介護予防小規模多機能型 居宅介護(人/月)	30	30	30	28
	<b>15</b>			
	50.0%	%	%	%

⑲ 認知症対応型共同生活介護（介護・予防給付）

事業内容

認知症高齢者に対し、共同生活を営む住居で、家庭的な環境と地域住民との交流のもと、入浴、排せつ、食事等の介護や、その他の日常生活上の世話と機能訓練を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
認知症対応型 共同生活介護(人/月)	864	870	924	1,049
	<b>828</b>			
	95.8%	%	%	%
介護予防認知症対応型 共同生活介護(人/月)	3	3	3	4
	<b>1</b>			
	33.3%	%	%	%

⑳ 地域密着型特定施設入居者生活介護（介護給付）

事業内容

有料老人ホームなどで、定員が29人以下の介護専用型特定施設に入居する利用者に対し、入浴、排せつ、食事などの介護やその他の日常生活上の世話と機能訓練、療養上の世話を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
地域密着型特定施設 入居者生活介護 (人/月)	12	12	12	12
	7			
	58.3%	%	%	%

㉑ 看護小規模多機能型居宅介護（介護給付）

事業内容

医療ニーズの高い要介護者に対応するため、小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせ、「通い」、「泊まり」、「訪問介護」、「訪問看護」を複合的に提供し、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話や機能訓練、療養上の世話を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
看護小規模多機能型 居宅介護 (人/月)	28	48	74	125
	30			
	107.1%	%	%	%

⑳ 地域密着型通所介護（介護・予防給付）

事業内容

小規模な通所介護事業所は、生活圏域に密着したサービスであることから、地域との連携や運営の透明性を確保するため、平成 28(2016)年度から地域密着型サービスに移行します。

なお、単独の地域密着型通所介護に移行する場合のほか、事業所の経営の安定性を図るとともに、柔軟な事業運営やサービスの質の向上のため、通所介護事業所や小規模多機能型居宅介護のサテライト事業所へ移行する場合があります。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
地域密着型通所介護 (回/月)	-	30,375	32,196	51,391
	-			
	-%	%	%	%

㉑ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（介護給付）

事業内容

定員が 29 人以下の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入居する利用者に対し、入浴、排せつ、食事などの介護やその他の日常生活上の世話と機能訓練、療養上の世話を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
地域密着型特定施設 入居者生活介護 (人/月)	0	0	0	0
	0			
	%	%	%	%

②④ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（介護給付）

事業内容

寝たきりや認知症などで常時の介護を要し、在宅で介護を受けることが困難な高齢者のための施設で、入浴、排せつ、食事等の介護など日常生活上の世話や、機能訓練など療養上の世話を受けることができます。

真に施設でのケアを必要とする高齢者が、適切に施設を利用できるよう、計画年度ごとの施設サービス見込量をもとに、施設整備を進め、入所待機者の解消に努めます。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1,647	1,647	1,697	1,817
(人/月)	1,561			
	94.8%	%	%	%

②⑤ 介護老人保健施設（介護給付）

事業内容

病状が安定し、リハビリテーションに重点を置いた介護が必要な入所者に対し、居宅における生活への復帰を目指して、施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行います。

事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
介護老人保健施設	1,122	1,210	1,331	1,435
(人/月)	1,085			
	96.7%	%	%	%

## ②⑥ 介護療養型医療施設（介護給付）

### 事業内容

長期にわたる療養を必要とする患者に対し、療養病床等を有する病院又は診療所において、施設サービス計画に基づき療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療を行います。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

サービス見込量	平成27年度	28年度	29年度	37年度
介護療養型 医療施設(人/月)	163	163	163	163
	<b>156</b>			
	95.7%	%	%	%

## ②⑦ 介護給付等費用適正化事業

### 事業内容

適切なサービスの確保と、その結果としての費用の効率化を通じて、介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に資する事業です。

「要介護認定の適正化」、「ケアプラン点検」、「住宅改修等の点検」、「国民健康保険団体連合会の介護給付適正化システムの縦覧点検表による請求内容のチェック」、「介護給付費通知」が介護給付適正化事業の主要5事業です。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

	平成27年度	28年度	29年度
給付費通知発送件数 (年間延件数)	64,677	74,865	77,793
	<b>67,274</b>		
	104.0%	%	%

## ⑳ 住宅改修支援事業

### 事業内容

介護保険サービスにおける住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成した居宅介護支援事業者等に対して、補助金を交付します。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
住宅改修理由書作成 補助件数(件)	72	72	72
	40		
	55.6%	%	%

## ㉑ 介護相談員派遣等事業

### 事業内容

一定の研修を受けた介護相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図ります。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
派遣受入事業所数(か所)	20	35	40
	14		
	70.0%	%	%

## ウ 介護予防の推進

介護予防とは、高齢者が要介護状態になることの予防や要介護状態等の軽減・悪化防止を行うことです。

特に、生活機能の低下した高齢者に対しては、運動機能や栄養状態などの心身機能の改善だけでなく、日常生活における活動や社会参加により、生活の質の向上が図れるよう、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要です。

このことから、今後、介護予防・日常生活支援総合事業を実施する中で、住民一人ひとりの状況や地域の実情に応じた介護予防事業を展開するとともに、地域ぐるみで取り組む介護予防の体制づくりに努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 二次予防事業対象者把握事業

##### 事業内容

保健・医療・福祉など関係機関と連携し、要支援・要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の者（二次予防事業対象者）を把握します。

特に、70歳以上の高齢者については、基本チェックリストを送付することにより把握し、さらに、70～79歳の未回答者に対しては、再度、基本チェックリストを送付して把握率を高めます。

また、関係機関と連携し、基本チェックリストの啓発等を行い、より多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう努めます。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成27年度	28年度	29年度
70～79歳の高齢者の把握率(%)	100.0	100.0	100.0
	67.7		
	67.7%	%	%



## ② 介護予防ケアマネジメント

### 事業内容

二次予防事業対象者に対し、要介護状態等になることを予防し、心身の状況を踏まえて効果的に介護予防事業に取り組めるよう、介護予防ケアマネジメントを行い、はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）又は訪問型介護予防事業へ参加できるよう支援します。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

	平成27年度	28年度	29年度
要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	22.4
	21.1		
	98.1%	%	%
介護予防ケア マネジメント数(件)	2,600	4,600	6,500
	2,189		
	84.2%	%	%

## ③ はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）

### 事業内容

二次予防事業対象者に対し、心身の状況を踏まえて、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防支援、うつ予防支援、閉じこもり予防支援を行うため、はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）を実施しています。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

区 分	平成27年度	28年度	29年度
要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	22.4
	21.1		
	98.1%	%	%
介護予防に取り組む人の数 (人)	2,500	5,800	7,900
	2,120		
	84.8%	%	%

#### ④ 訪問型介護予防事業

##### 事業内容

通所型介護予防事業への参加が困難な人を対象に、居宅を訪問して、生活機能を総合的に把握・評価し、相談・指導を行います。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成27年度	28年度	29年度
要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	22.4
	21.1		
	98.1%	%	%
訪問型介護予防に取り組む 人の数(人)	4	5	6
	0		
	0.0%	%	%

#### ⑤ 二次予防事業評価事業

##### 事業内容

二次予防事業については、本市独自の評価を実施するために二次予防事業評価ワーキンググループにおいて、介護予防事業を科学的根拠に基づき評価することにより、効果的で、効率的な介護予防事業の推進に向けた取組を行います。

##### 事業実績

効率的な事業の展開に向けて、二次予防事業であるはつらつ介護予防教室等介護予防事業の評価することを目的に、平成28年2月に二次予防事業ワーキンググループを開催しました。

重点的に啓発した口腔機能向上プログラムの検証と今後の展開及び介護予防事業の方向性について協議しました。

## ⑥ はつらつ介護予防教室継続教室

### 事業内容

「はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）」終了後においても、引き続き、継続した教室への参加が望ましい人には、「はつらつ介護予防教室継続教室」への参加を促し、主体的かつ継続的に介護予防に取り組めるよう支援します。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

区 分	平成27年度	28年度	29年度
要介護(要支援)認定率(%)	21.5	21.8	22.4
	<b>21.1</b>		
	98.1%	%	%
介護予防に取り組む人の数 (人)	1,710	3,700	4,600
	<b>1,601</b>		
	93.6%	%	%

## ⑦ 指定介護予防支援

### 事業内容

要支援1・要支援2と認定された高齢者ができる限り在宅で自立した生活を継続できるよう、介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）の作成やサービス利用の調整、サービス利用後の効果を評価しています。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

	平成27年度	28年度	29年度
要支援認定者数(人)	6,173	6,553	6,963
	<b>6,053</b>		
	98.1%	%	%
介護予防支援(人/月)	4,057	2,800	1,583
	<b>4,031</b>		
	99.4%	%	%
新しい総合事業利用者 (人/月)	-	1,505	2,992
	-		
	-%	%	%
サービス利用者の 維持改善率(%)	87.0	87.0	87.0
	<b>85.0</b>		
	97.7%	%	%

## エ 社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、様々な生活支援サービスと高齢者自身の社会参加が必要であり、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍することも期待されています。

高齢者が社会的役割を持つことにより、生きがいを持って生活でき、また、介護予防にもつなげていくことが重要です。

### 主な事業の実施状況

#### ① 高齢者特別あんしん見守り事業

##### 事業内容

公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託し、特に定期的な見守り支援が必要な在宅のひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動を行うことにより、地域における孤立を防ぎ、不審な状況を発見した際の迅速な対応ができる体制を整えことで、高齢者の生活の安全を確保し、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整え、自立した生活の継続を図ります。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
登 録 者 数(人)	70	70	70
	8		
	11.4%	%	%

## ② 地域で支えあう見守り活動に関する協定

### 事業内容

本市、高松市民生委員児童委員連盟及び市内事業者が、それぞれの立場で連携・協力し、高齢者等の見守り活動及び支援活動を行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備し、もって地域福祉の向上に寄与することを目的としています。

事業者が、通常業務の範囲内において、高齢者等の自宅を訪問した際等、何らかの異変を発見した場合、その状況を連絡することで、事故等の未然防止や早期発見など、高松市民生委員児童委員連盟や関係各課等と連携し、適切な対応を図ります。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
見守りに関する協定締結 事業者数	70	75	75
	70		
	100.0%	%	%

## ③ 高齢者居場所づくり事業

### 事業内容

高齢者が心身機能の衰えに伴い閉じこもりがちとなり、社会との接点を無くして孤立することなどを防ぐため、高齢者等が気軽に集える居場所の開設・運営を行う個人又は団体に対し、助成金を交付することにより、高齢者の介護予防や健康づくりを推進します。おおむね徒歩圏内に1か所を目安に、老人いこいの家などの既存施設の置換えを含め、平成26(2014)年度からの3か年で、市内300か所程度の開設を進めています。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
居場所開設数 (か所)	214	300	300
	188		
	87.9%	%	%

#### ④ 敬老事業

##### 事業内容

###### ○ 敬老会事業

75歳以上の高齢者を対象に、敬老の日を中心に、地域コミュニティ協議会が実施主体となり、地区ごとに地域の特性に応じて敬老会を開催しています。

###### ○ 敬老祝金

88歳及び99歳以上の高齢者を対象に、在宅の高齢者については各地区民生委員児童委員を通じて配布し、施設入所者については、本市職員が持参して配布しています。

###### ○ 敬老祝品・高齢者訪問

市内の男女最高齢者及び100歳となる高齢者に、敬老祝品を贈呈し、希望者には市長及び市議会議長、又は副市長等が訪問し、長寿をお祝いします。

##### 事業実績

###### ○ 敬老会事業

H27年度 75歳以上 54,549人 実施地区 44地区

###### ○ 敬老祝金

H27年度 88歳 1,867人 一人当たり支給額 10,000円

99歳以上 432人 一人当たり支給額 20,000円

###### ○ 敬老祝品・高齢者訪問

H27年度 100歳対象者 135人 訪問者数 59人

市内最高齢者 男 105歳 女 108歳

#### ⑤ 老人クラブ

##### 事業内容

高齢者の生きがいづくりや社会活動への参加を促進するため、老人クラブへの加入を一層促進します。

また、老人クラブの自主性を最大限に尊重しながら、高齢者の多様なニーズに応じたスポーツ・教養活動のほか、社会貢献の担い手として、寝たきり高齢者やひとり暮らし高齢者等を訪問する友愛訪問活動などのボランティア活動や各種活動を企画・指導する人材育成を促進し、老人クラブ活動への支援に努めます。

##### 事業実績

H27年度 クラブ数(団体) 375 会員数 19,295人

- ・老人クラブの加入促進 広報紙、いきいき大学受講生への加入促進等
- ・老人クラブ活動内容の充実 スポーツ活動の展開、交通安全指導者研修会等
- ・指導者の育成促進 6月22日～30日 7会場で 合計672人を対象に研修会を実施等  
いきいき大学(老人大学)を5月～翌年2月において3学科51講座開催 修了生147名

## ⑥ シルバー人材センター

### 事業内容

高齢者に臨時・短期的な就業の場を提供しているシルバー人材センターに運営補助を行い、センターの円滑な運営を支援することで、経験や技術を生かして、生きがいづくりや社会参加、社会貢献の機会を希望する高齢者の就労機会の拡大に努めます。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
シルバー人材センター 会員数(人)	2,002	2,067	2,132
	1,854		
	92.6%	%	%

## ⑦ 軽度生活援助事業

### 事業内容

日常生活において、援助が必要なひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、シルバー人材センターの援助員による自宅周りの清掃、食材の買い物等、軽易な日常生活上の援助を提供することにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図ります。

### 事業実績

H27年度 登録人数 3,443人  
延べ利用回数 18,342回

## ⑧ あんしん通報サービス事業

### 事業内容

ひとり暮らし高齢者等宅にライフスタイルに合わせて選択できる、緊急通報装置を設置します。このことにより、急病・災害時等の緊急時に異常事態の通報と迅速な対応ができるとともに、安否確認や定期的な見守りを行い、ひとり暮らし高齢者等の安全確保に努めます。

### 事業実績

一人暮らし高齢者等に急病・災害時等の緊急時に対応できる装置を設置します。相談がある場合は24時間365日対応し、また、月に1回のお伺い電話により、日常生活の安否確認を行い、一人暮らしの高齢者等の安全確保に努めました。

H27年度設置台数 緊急通報装置 1,330台  
あんしん通報装置 812台

## ⑨ 福祉電話貸与事業

### 事業内容

市民税非課税のひとり暮らし高齢者等に、地域社会等との交流を促進するため、福祉電話を貸与し、ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消を図ります。

### 事業実績

H27 年度設置台数 148 台

## ⑩ 高齢者と施設の交流事業

### 事業内容

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、老人福祉施設等で調理された食事を自宅へ配食することにより、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認などの見守り支援を行っています。

### 事業実績

H27 年度 実施施設 19 か所  
延食数 30,574 食

## ⑪ 高齢者と地域の交流事業

### 事業内容

ひとり暮らし高齢者等を対象に、地域のコミュニティセンター等において、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員、ボランティア等の協力により、定期的な会食を実施することにより、高齢者の孤独感の解消や、地域との交流を図ります。

### 事業実績

H27 年度 実施地区数 29 か所  
延食数 23,064 食

## ⑫ 高松市社会福祉協議会食事サービス助成事業

### 事業内容

高松市社会福祉協議会が会員制で実施している、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、栄養のバランスがとれた食事の配達サービスの一部を助成することにより、在宅での生活支援を図ります。

### 事業実績

H27 年度 95,866 食



### ⑬ 高齢者生きがいデイサービス事業

#### 事業内容

日常生活に支障があり、要介護状態になるおそれのある高齢者、また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯であって、家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、デイサービスセンターにおいて、趣味や創作活動、教養講座、レクリエーションなどを実施し、高齢者の自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図るとともに、社会的孤立感の解消及び生きがいの創出と社会活動への参加を促進します。

#### 事業実績

H27年度 施設数 31 施設  
登録者数 565 人  
延利用者数 6,280 人

### ⑭ 市民活動支援バス

#### 事業内容

地域団体が行う、教養活動や社会貢献などの公益的な活動を支援するため、市民活動支援バスを提供します。

#### 事業実績

H27年度 延団体数 38 地区  
※平成 27 年度事業廃止

### ⑮ 高齢者福祉タクシー助成事業

#### 事業内容

要介護認定者及び市民税非課税など的高齢者を対象として、タクシー助成券を交付し、タクシー料金の一部を助成することにより、家に閉じこもりがちな高齢者の外出支援を図り、高齢者の社会的孤立感の解消を促進します。

#### 事業実績

H27年度 交付人数 3,073 人  
使用枚数 22,105 枚  
使用率 48.0%

## ⑯ 日常生活用具給付事業

### 事業内容

市民税非課税のひとり暮らし高齢者等に、自動消火器、火災警報器、電磁調理器を給付し、防火等に配慮するとともに、ひとり暮らし高齢者の日常生活の便宜を図ります。

### 事業実績

H27 年度	自動消火器	16 人
	火災報知器	19 人
	電磁調理器	41 人

## ⑰ 高齢者短期入所事業

### 事業内容

虚弱な高齢者を、在宅において養護している方を対象として、養護者が疾病・事故・冠婚葬祭などの理由で、家庭において一時的に養護できなくなった場合、高齢者に養護老人ホームにおいて一時的な期間（原則 7 日以内）、宿泊・食事・入浴のサービスを提供し、今後も在宅で継続した生活が送れるよう、高齢者の養護を図るとともに、養護する方の支援に努めます。

### 事業実績

H27 年度	延利用人数	30 人
	延利用日数	996 日

## ⑱ 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業

### 事業内容

要介護 3 以上の認定を受けている高齢者、要介護 2 の認定を受けている認知症の常時おむつを必要とする高齢者、及び尿失禁を伴う過活動膀胱の 80 歳以上の高齢者に、紙おむつ又は尿とりパッドを給付することにより、高齢者の日常生活を支援するとともに、家族の身体的・経済的負担の軽減を図ります。

### 事業実績

H27 年度	登録人数	1,737 人
	延利用者数	18,943 人

## ⑱ 寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業

### 事業内容

要介護4以上の認定を受けている高齢者を、在宅で常時介護している家族の方に対し、介護見舞金を支給し、介護者の日常生活における身体的・経済的負担の軽減を図ることで、高齢者を在宅で介護する家族を支援します。

### 事業実績

H27年度 801人

## ⑳ たかまつ介護相談専用ダイヤル

### 事業内容

地域包括支援センターや高齢者相談窓口の閉庁時間にも利用できる、「たかまつ介護相談専用ダイヤル」事業を24時間365日実施し、市民の介護や日常生活の不安を軽減し、在宅介護が円滑に行える環境を整えるとともに、独居の不安や介護疲れの軽減を図ります。また、相談内容によっては、関係機関と連携を図り、適切な対応に努めています。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
相 談 件 数 ( 件 )	2,000	2,000	2,000
	311		
	15.6%	%	%

## オ 住まいの整備・充実

高齢者が生活の基盤とすることのできるプライバシーと尊厳が十分に守られた住環境として、必要な住まいが整備され、自らのライフスタイルや介護ニーズ等に見合った住まいを充実させることが重要です。

### 主な事業の実施状況

#### ① 高齢者住宅等安心確保事業

##### 事業内容

高齢者の生活特性に配慮した高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）において、入居者に対して生活指導や相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応、関係機関との連絡等を行う生活援助員を派遣しています。

##### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

	平成27年度	28年度	29年度
生活援助員の派遣人数 (人)	4	4	4
	4		
	100%	%	%

#### ② 高齢者住宅改造助成事業

##### 事業内容

寝たきり等の状態で、日常生活で介助を必要とする高齢者の世帯に対し、自宅の浴室・便所等のバリアフリー化改修について、費用の一部を助成し、高齢者の自立と家族の負担軽減を図ります。

##### 事業実績

H27年度 27件

### ③ サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム

#### 事業内容

高齢者の安心を支えるサービス(安否確認や生活相談サービス)を提供するサービス付き高齢者向け住宅について、事業者の参入の動向を把握し、高齢者住まい法等に基づき、整備や運営管理、サービス提供が適正に行われるよう努めます。

また、有料老人ホームについても、入居者の快適な居住環境の確保と適正な事業運営がなされるよう、事業者に対して、適切な指導等を行い、高齢者が安心して暮らせる住まいの確保に努めます。

#### 事業実績

##### ○サービス付き高齢者向け住宅

H27年度 施設数 32 施設  
戸数 964 戸

##### ○有料老人ホーム

H27年度 施設数 62 施設  
定員 2,033 人

### ④ 養護老人ホーム

#### 事業内容

環境上の理由及び経済的理由により、家庭で生活することが困難な高齢者のための施設です。入居者の能力に応じた自立した生活を営むため、必要な指導及び訓練、その他援助を行います。

#### 事業実績

H27年度 整備量 200 人 整備施設 2 施設

### ⑤ 軽費老人ホーム

#### 事業内容

自炊ができない程度の身体機能の低下が認められ、自立して生活するには不安がある高齢者のための施設です。

食事、入浴等の準備、相談及び援助などを提供し、高齢者の自立生活を支援する施設として、施設機能の充実に努めます。

#### 事業実績

H27年度 整備量 488 人 整備施設 13 施設

## カ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

要支援者等の高齢者の多様な生活支援のニーズに地域全体で応えていくため、従来の介護予防事業は、地域の実情に応じて、市町村が効果的かつ効率的に実施することができる、新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）へ移行し、平成29(2017)年4月までに、全ての市町村で実施することとされています。

この新しい総合事業は、全国一律の基準に基づく予防給付から移行する、訪問型サービス及び通所型サービスや、既存の介護事業所に加えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な主体を活用した、生活支援サービスなどの「生活支援・介護予防サービス事業」と、元気高齢者と二次予防事業対象者を分け隔てることなく、全ての高齢者が利用する体操教室などの普及啓発等を行う「一般介護予防事業」から構成されます。

サービスの利用に当たっては、従来と同様、地域包括支援センター等のケアマネジメントに基づき、適切な支援につなげていく仕組みであり、自立支援の観点から、その人によりふさわしいサービスの利用を実現していくことが重要です。

### 主な事業の実施状況

#### ① 生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業

##### 事業内容

平成27(2015)年度以降で段階的な実施が可能とされている、新しい総合事業への移行に当たり、予防給付から移行する訪問介護・通所介護サービスを始めとした生活支援・介護予防サービスを、支援が必要な高齢者のニーズに対応し、多様な主体が提供できる体制を構築します。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
協議体会議開催回数(回)	6	3	-
	4		
	66.6%	%	%

## キ 認知症施策の推進

高齢化が進展する中、認知症高齢者等の数が増大するとともに、高齢の単身世帯や夫婦のみの世帯が増加していくことも踏まえ、国において、認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）を改め、平成27(2015)年に、平成37(2025)年までを計画期間とする、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を策定しています。

今後、認知症高齢者等の意思が尊重され、可能な限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会を実現するため、7つの柱に沿って、施策を総合的に推進することに努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 認知症ケアパスの普及

##### 事業内容

認知症高齢者及び若年性認知症の人が、認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中で、その進行状態にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか、機関名やケア内容を具体的に掲載した「認知症ケアパス」を作成し、普及を図ります。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
認知症ケアパス揭示場所数 (新規)(か所)	1,300	200	200
	1,298		
	99.8%	%	%
認知症ケアパス設置数 (新規)(か所)	1,500	150	150
	1,276		
	85.1%	%	%
認知症ケアパス配布枚数 (新規)(枚)	40,000	5,000	5,000
	28,000		
	70.0%	%	%

## ② 認知症初期集中支援チーム設置・運営

### 事業内容

医療や介護の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族からの相談に対して、家庭を訪問します。状況の聞き取りや適切な助言により、初期の支援を包括的・集中的に行い、必要なサービス等につなげることで、自立生活のサポートを行います。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度	37年度
訪問数(実人数)(人)	-	45	90	93
	-			
	-%	%	%	%
訪問件数(延べ件数)(件)	-	150	300	310
	-			
	-%	%	%	%

## ③ 物忘れ・認知症相談事業

### 事業内容

認知症の早期発見や早期対応を図るため、物忘れが気になる人、認知症の人やその家族等を対象に、専門医師・保健師による相談指導を実施します。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
開催回数(回)	24	24	24
	24		
	100.0%	%	%
相談人数(人)	96	96	96
	69		
	71.9%	%	%



#### ④ 認知症地域支援推進員の配置

##### 事業内容

認知症高齢者及び若年性認知症の人やその家族への効果的な支援ができるよう、認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置します。

認知症地域支援推進員は、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関と連携し、認知症高齢者等とその家族への相談支援体制の充実及び地域の実情に合った支援体制の構築を図ります。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度	37年度
認知症地域支援推進員の 配置数(人)	8	8	8	8
	<b>4</b>			
	50.0%	%	%	%
認知症に関する相談件数 (件)	1,450	1,480	1,500	2,200
	<b>1,587</b>			
	109.4%	%	%	%

#### ⑤ 認知症サポーター養成講座の推進

##### 事業内容

認知症高齢者及び若年性認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう地域で認知症高齢者等の生活を支える取組として、地域、住民、企業、学校、行政、介護サービス事業所等を対象に認知症サポーターを養成しています。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
認知症サポーター養成人数 (累積)(人)	29,000	32,000	35,000
	<b>32,018</b>		
	110.4%	%	%

## ⑥ 認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」事業

### 事業内容

認知症高齢者及び若年性認知症の人を支える家族が、情報交換や互いの経験を語り合う場として「ひだまり」を開催します。同じ悩みを抱えた家族が集まり、認知症についての正しい理解や介護の知識等を深めることで、家族の自信と意欲を高め、不安等を軽減します。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
開催回数(回)	13	13	14
	12		
	92.3%	%	%
延べ人数(人)	190	195	200
	149		
	78.4%	%	%
新規参加者割合(%)	40.0	40.0	40.0
	22.1		
	55.3%	%	%

## ⑦ 徘徊高齢者家族支援サービス事業

### 事業内容

徘徊のおそれがある在宅の認知症高齢者を介護している同一世帯の方に対し、認知症高齢者が徘徊した場合に、早期に発見できる探索機器の購入費を助成しています。

### 事業実績

H27年度 助成件数 7件  
登録人数 17人

## ⑧ 徘徊高齢者保護ネットワーク

### 事業内容

認知症等により高齢者等が徘徊する事態が発生した場合に、家族からの警察への捜索願に基づき、公開情報として、民生委員児童委員、支所出張所、地域包括支援センター、保健センター、コミュニティセンター、老人介護支援センター等へ情報を伝達し、徘徊高齢者の早期発見・早期保護に努めています。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
配信登録人数(人)	5,000	10,000	10,000
	337		
	6.7%	%	%

## ⑨ 成年後見制度利用支援事業

### 事業内容

認知症等によって判断能力が不十分な状態にある高齢者で、適切な介護サービスの利用や金銭管理、法律行為などについて支援が必要な場合、成年後見制度の活用につなげています。

また、親族からの成年後見の申立が期待できない場合に、市長が家庭裁判所に成年後見人の選任の申立を行います。申立に係る費用負担が困難な場合は、市長が費用の一部又は全部を本人に代わり負担します。

さらに、成年後見人等の報酬が支払えない場合は、費用の一部を助成しています。

### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
市長申立(件)	30	30	30
	14		
	46.7%	%	%
申立に要する助成件数(件)	5	6	7
	4		
	80.0%	%	%
成年後見人等の報酬に係る助成件数(件)	10	14	18
	2		
	20.0%	%	%

## ク 高齢者虐待の防止

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)」の趣旨を踏まえ、地域住民に対する虐待に関する知識・理解の普及啓発に取り組むとともに、地域包括支援センターや関係機関・団体等と連携協力し、虐待を受けるおそれのある高齢者や養護者・家族に対する多面的な支援を引き続き推進します。

また、養護者や養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止はもとより、「高松市高齢者虐待防止・対応マニュアル」を広く関係団体や市民等へ周知するとともに、当該マニュアルに基づき、市、老人介護支援センター、警察署等で構成された高齢者虐待対応ネットワークの一層の強化に取り組み、虐待を受けた高齢者の保護や養護者への支援等を迅速かつ効果的に実施します。

### 主な事業の実施状況

#### ① 高齢者の虐待防止対策の推進

##### 事業内容

平成 17(2005)年 11 月に成立した「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき作成した「高松市高齢者虐待防止・対応マニュアル」を平成 21(2009)年度に見直しを行うなど、高齢者虐待の発生予防や虐待を受けた高齢者の保護や養護者への支援等の強化に努めています。

また、高齢者虐待を早期に発見し、迅速かつ効果的に実施するため、当該マニュアルの保健・医療・福祉の関係団体や市民等への周知に努めています。

##### 事業実績

高齢者虐待の発生予防や虐待を受けた高齢者の保護や養護者への支援等の強化に努めました。

また、高齢者虐待を早期に発見し、迅速かつ効果的に支援するために、関係団体や市民等への周知に努めました。

・虐待相談件数 9 2 5 人 虐待実人数 7 1 人

## ケ 地域包括支援センターの運営強化

地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う中核的機関です。

### 主な事業の実施状況

#### ① 介護予防ケアマネジメント

P39 参照

#### ② 総合相談支援

##### 事業内容

高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保険に関するだけでなく、高齢者の様々な相談に応じています。

地域における関係者等とのネットワークの構築により、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を把握し、適切な保健・医療・福祉・介護サービスの機関又は制度の利用につなげるなどの支援を行っています。

また、平成 21(2009)年度より市内 28 か所の老人介護支援センターを窓口（ブランチ）として委託し、緊密な連携や対応を行っています

##### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

区 分	平成27年度	28年度	29年度
総合相談支援件数(件)	16,200 (5,000)	16,850 (5,200)	17,200 (5,300)
	<b>19,775</b>		
	122.1%	%	%

※( )内は老人介護支援センター対応分を内数として記載

### ③ 権利擁護

#### 事業内容

認知症高齢者等が、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して生活できるように、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のための必要な支援を行います。

特に、高齢者の権利擁護の観点からの支援が必要な場合には、成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用を促進するほか、老人福祉施設等の措置の支援を行ったり、高齢者虐待や消費者被害の防止等の取組を行います。

#### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成27年度	28年度	29年度
高齢者虐待に関する相談 (件)	800	830	850
	<b>925</b>		
	115.6%	%	%
成年後見制度に関する相談 (件)	605	615	630
	<b>968</b>		
	160.0%	%	%
日常生活自立支援制度相談 (件)	190	200	210
	<b>119</b>		
	62.6%	%	%
消費者被害に関する相談 (件)	30	40	50
	<b>26</b>		
	86.7%	%	%

#### ④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 事業内容

##### (1) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員、主治医、地域の関係機関などが、多職種協働により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的・継続的なケアが提供できるよう、地域における体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行います。

##### (2) 老人介護支援センターとの連携

地域の身近な相談窓口である老人介護支援センターを地域包括支援センターの窓口（ブランチ）と位置付け、協力、連携し、24時間体制で在宅介護等に関する相談に応じるほか、利用申請代行等の業務を行います。また、老人介護支援センター連絡会を開催し、実践報告や事例検討をすることで情報共有や意見交換し、様々な機関や団体が連携できる協力体制を取り、地域のネットワーク構築を図ります。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成27年度	28年度	29年度
介護支援専門員からの相談 (件)	1,400	1,450	1,500
	876		
	62.6%	%	%
老人介護支援センター 連絡会(回)	4	4	4
	2		
	50.0%	%	%
地域ケア小会議（各地区高 齢者支援連携会議）に介護 支援専門員から事例提供が あった割合(%)	40.0	45.0	50.0
	58.9		
	147.3%	%	%

## ⑤ 地域ケア会議（多職種協働によるネットワークづくり）

### 事業内容

高齢者が介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して安全に暮らせるよう、平成 25(2013)年度から、コミュニティ単位で「地域ケア小会議（各地区高齢者支援連携会議）」を開催し、地域の支援者や行政職員等が日常生活の様々な問題を抱える高齢者の具体的な支援内容を検討します。

地域ケア小会議では、課題解決を支援するとともに、その積み重ねを通し、関係者の課題解決力の向上や地域包括支援ネットワークの構築を図ります。

さらに、医師会・介護サービス事業者・地域代表等で構成する「地域ケア会議（高松市高齢者支援連携会議）」を開催し、その結果を高齢者支援に関する施策・体制づくりにつなげます。

### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

区 分		平成27年度	28年度	29年度
地 域 ケ ア 会 議	全体会議（回）	2	2	2
		<b>2</b>		
		100.0%	%	%
地 域 ケ ア 小 会 議 （コミュニティ単位）	個別課題（回）	49	54	59
		<b>56</b>		
		114.3%	%	%
	地域課題（回）	15	18	21
		<b>15</b>		
		100.0%	%	%



## 計画の目標 安心して暮らせる地域づくり

### 重点課題 健康づくり等と社会活動への参加の推進

#### ア 健康都市推進ビジョンの推進

高齢化の進展に伴い、がん、循環器疾患、糖尿病等の増加が予想されることから、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸に向けた取組が重要となります。

平成 26 年 3 月に策定した「健康都市推進ビジョン」に基づき、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目指し、生活習慣病の予防など若い時期から継続した健康づくりと、健やかに長寿を楽しむための介護予防を積極的に推進します。

#### 主な事業の実施状況

##### ① 生活習慣の改善

###### 事業内容

「栄養・食生活・食育」を始め、「身体活動・運動」、「こころの健康・休養」、「飲酒」、「喫煙」、「歯・口腔の健康」の 6 つの生活習慣について、健康づくりの行動目標を設定し、壮年期から継続した主体的な健康づくりを推進します。

また、健康づくりの情報について、「広報たかまつ」を始めとする各種広報媒体を活用した普及啓発に取り組みます。また、各種イベントなどの機会に合わせ、健康づくりの普及啓発に取り組みます。

###### 事業実績

生活習慣の改善への取組として、これまでの糖尿病予防教室に加え、新たに慢性腎臓病予防教室を開催しました。

健康チャレンジ事業では、地域コミュニティ協議会と働く人のグループ部門に働く人の事業所部門を新たに加え、実施しました。

栄養・食生活の面から野菜摂取の啓発として、シールラリーや 8 月 31 日（野菜の日）に食育イベントを実施しました。

高齢者の筋力低下予防意識を啓発するために、転倒骨折予防講座及び介護予防教室等を開催するとともに、のびのび元気体操の普及啓発に努めました。

こころの健康セミナーの開催をはじめ、成人式でのメンタルヘルスカードの交付を行いました。

## ② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

### 事業内容

本市の主要な死亡原因である「がん」と「循環器疾患」に加え、患者が増加傾向にあり、かつ重大な合併症を引き起こす恐れのある「糖尿病」の発症予防と重症化予防の徹底を推進します。

### 事業実績

#### がん検診の実施

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分		平成 27 年度	28 年度	29 年度
胃 が ん	受 診 人 数(人)	10,300	16,263	22,072
		<b>9,037</b>		
	87.7%	%	%	
	受 診 率(%)	8.9	14.0	19.0
<b>7.8</b>				
大 腸 が ん	受 診 人 数(人)	41,820	47,628	53,437
		<b>44,030</b>		
	105.3%	%	%	
	受 診 率(%)	36.0	41.0	46.0
<b>38.0</b>				
肺 が ん	受 診 人 数(人)	22,370	27,880	33,688
		<b>21,499</b>		
	96.1%	%	%	
	受 診 率(%)	19.3	24.0	29.0
<b>18.5</b>				
子 宮 頸 が ん	受 診 人 数(人)	14,666	16,852	19,130
		<b>13,451</b>		
	91.7%	%	%	
	受 診 率(%)	32.2	37.0	42.0
<b>29.6</b>				
乳 が ん	受 診 人 数(人)	11,020	12,854	14,690
		<b>11,234</b>		
	101.9%	%	%	
	受 診 率(%)	30.0	35.0	40.0
<b>30.6</b>				
		102.0%	%	%

## 特定健康診査・特定保健指導の実施

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分		平成 27 年度	28 年度	29 年度
特定健康診査	受診人数(人)	46,564	46,564	46,391
		<b>28,340</b>		
		60.9%	%	%
	受診率(%)	60.0	60.0	60.0
		<b>42.7</b>		
71.2%		%	%	
特定保健指導	実施人数(人)	3,857	4,235	4,595
		<b>1,117</b>		
		29.0%	%	%
	実施率(%)	50.0	55.0	60.0
		<b>32.3</b>		
64.6%		%	%	

### ③ 高齢者の健康づくり

#### 事業内容

高齢者がいきいきと、健やかに長寿を楽しむために、生活習慣病の予防だけでなく、高齢による体力低下や不活発な生活による全身の心身機能低下（生活不活発病）への対策が必要なことから、高齢者の健康づくりの意識啓発と各種介護予防事業を推進します。

#### 事業実績

高齢や不活発な生活による体力及び心身機能低下の予防と健康づくり意識啓発のために介護予防事業を実施しました。

- ・ 65歳からの元気いきいき教室：87回 1,805人参加
- ・ ロコモキーパー養成講座：1回 5人参加
- ・ 高齢者対象の健康教育：426回 12,075人参加
- ・ のびのび元気体操普及：1,246回 27,046人参加

#### ④ 地域で支える健康づくり

##### 事業内容

市民一人ひとりの積極的な健康管理と自主的な健康づくり意識の高揚を図るため、地域において自主的に健康づくり活動を行う「保健委員」、「食生活改善推進員」や介護予防のためのボランティアである「元気を広げる人」等を育成し、地域ぐるみでの健康づくりや介護予防の推進に努めます。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
元気を広げる人養成講座 修了者(人)	635	675	716
	685		
	107.9%	%	%

## イ 感染症予防の充実

高齢者を対象に、インフルエンザ・成人用肺炎球菌の予防接種や、各地区巡回による結核健康診断を実施します。また、高齢者は結核患者に占める割合が高く、感染症に対する抵抗力も弱いことから、正しい知識の普及に努めて早期発見・早期治療を行うほか、まん延防止を図るため、広報たかまつやリーフレット等を活用して予防の啓発を行うなど、感染症予防に努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 感染症予防対策

##### 事業内容

65歳以上のインフルエンザ予防接種、成人用肺炎球菌予防接種、結核健康診断を実施するとともに、感染症の正しい知識の普及に努めます。

##### 事業実績

平成27年度の結核新規登録患者数(潜在性結核感染症含む)は56人で、その中で65歳以上の患者は41人(73.2%)となっています。

感染症の正しい知識を普及するために、出前講座で6件、医師等関係者への研修会を2回実施しました。

また、65歳以上のインフルエンザ予防接種については、平成27年度接種人数は59,593人、接種率は51.6%でした。

## ウ 生涯学習の推進

多様化、高度化する高齢者の学習ニーズに対応できるよう、生涯学習センター、コミュニティセンター等での各種講座の充実と自主的な生涯学習の推進を図るほか、公共施設利用総合情報システムによる情報提供などにより、生涯学習への積極的な参加を促進します。

### 主な事業の実施状況

#### ① 拠点施設における各種講座の実施

##### 事業内容

高齢者の生涯学習への積極的な参加を促進するため、生涯学習センターにおいて各種講座を開催するとともに、公共施設利用総合情報システムによる情報提供などにより、生涯学習への積極的な参加を促進します。また、コミュニティセンターにおいて高齢者教室を開催するなど、高齢者の生きがいをづくりと社会活動への参加の促進を図ります。

- 生涯学習センターにおける各種講座の実施、講座内容の充実  
(専門講座、遊友塾、子ども教室、市民の学習成果発表の場、その他)
- コミュニティセンターにおける高齢者教室の実施、講座内容の充実
- 老人福祉センターにおける健康講座の実施、講座内容の充実
- 高松市公共施設利用総合情報システム(かがわ電子自治体システム)の活用等による生涯学習に関する情報提供
  - ・ 公共施設利用総合情報システムにより、生涯学習センター、中央図書館、美術館を対象とした施設予約管理を行います。
  - ・ 本市ホームページにおいて、生涯学習センターで実施する講座の紹介や、人材等情報(人材情報、団体・グループ情報、教材情報、施設情報)の提供を行います。

##### 事業実績

高齢者の生涯学習への積極的な参加を促進するため、生涯学習センターにおいて高齢者向けの健康づくり・介護・終活等に関する各種講座を開催するとともに、コミュニティセンターなどにおいても高齢者教室等の講座を開催しました。

### 生涯学習センター主催講座

区 分	平成 27 年度	
	開催数(回)	受講者数(人)
専 門 講 座	33	1,500
遊 友 塾	28	611
子 ども 教 室	37	335
市民の学習成果発表の場	38	484
そ の 他	240	6,674
合 計	376	9,604

### 高齢者教室

区 分	平成 27 年度
教室開設数(教室)	51
学 習 期 間	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 15 日

### 茶寿荘

区 分		平成 27 年度
健 康 教 室	開催回数(回)	3
	参加者数(人)	122
健 康 体 操	開催回数(回)	6
	参加者数(人)	335

### 公共施設利用総合情報システムの活用等による情報提供

区 分	平成 27 年度
公共施設利用総合情報システム予約件数(件)	3,137
ホームページのアクセス数(件)	200,776

## エ 生涯スポーツの推進

高齢者の生涯スポーツの普及振興と健康増進を図るため、高松市民スポーツフェスティバルにおけるゲートボール大会やグラウンド・ゴルフ大会、高松市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会、骨盤体操教室などを開催しています。

今後とも、高齢者にとって充実した各種大会・教室等を開催し、積極的な参加の促進を図る必要があります。

### 主な事業の実施状況

#### ① 生涯スポーツの普及振興

##### 事業内容

スポーツ・レクリエーションの各種大会・教室等を充実させ、高齢者の参加を推進するとともに、高齢者の生涯スポーツの普及振興と健康増進を図ります。

- 高松市民スポーツフェスティバル
  - ・ゲートボール大会
  - ・グラウンド・ゴルフ大会
  - ・ダイヤゾーン・ボール大会（新規）
- 高松市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会
- 骨盤体操教室
- 元気ハツラツ！3B 体操教室

##### 事業実績

- 高松市民スポーツフェスティバル
  - ・ゲートボール大会
    - 平成 26 年 9 月 21 日（日）高松市東部下水処理場多目的広場  
26 チーム 160 人参加
    - 平成 27 年 9 月 20 日（日）高松市東部下水処理場多目的広場  
23 チーム 146 人参加
  - ・グラウンド・ゴルフ大会
    - 平成 26 年 9 月 14 日（日）さぬき空港公園 39 チーム 235 人参加
    - 平成 27 年 9 月 20 日（日）さぬき空港公園 40 チーム 240 人参加
  - ・ダイヤゾーン・ボール大会
    - 平成 27 年 9 月 27 日（日）高松市総合体育館 19 チーム 122 人参加
- 高松市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会
  - 平成 26 年 7 月 15 日（火）さぬき空港公園イベント広場 460 人参加
  - 平成 27 年 7 月 14 日（火）さぬき空港公園イベント広場 467 人参加
- 骨盤体操教室
  - 平成 27 年度 3 期 36 日 高松市かわなベスポーツセンター 延べ 388 人参加
- からだ機能改善体操教室
  - 平成 27 年度 3 期 45 日 高松市牟礼総合体育館 延べ 520 人参加



## オ 社会活動への参加促進

地域社会の中で高齢者自らの経験と知識を活かせる社会活動の機会として、高齢者が行う地域コミュニティ活動やボランティア活動を支援するほか、保育所・認定こども園・幼稚園及び小学校においては、高齢者と児童生徒との交流を図っています。

今後とも、高齢者の社会活動への参加促進を図るため、地域コミュニティ活動やボランティア活動を支援する必要があります。

### 主な事業の実施状況

#### ① 認知症サポーターフォローアップ事業

##### 事業内容

認知症サポーターが、認知症に対する正しい知識を身に付けるとともに、認知症高齢者等への声かけや見守り、あるいは必要に応じて関係機関へつなぐなどの対応ができるよう内容を充実した、認知症サポーターフォローアップ事業を実施します。

また、地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるよう、自分自身の健康増進や社会参加等を通じた生きがいがいづくりにも有意義であることから、地域で介護予防の視点を持ってボランティアとして活動できる場の提供を目指します。

##### 事業実績

認知症サポーターのフォローアップ講座は、認知症シンポジウムに参加し、認知症の理解を深め、必要に応じた関係機関へつなぐ対応ができることを目的として実施しました。

- ・認知症シンポジウム参加者488人中認知症サポーター91人参加

## ② 保育所・認定こども園・幼稚園における高齢者との世代間交流

### 事業内容

児童が福祉施設を訪問し交流したり、地域に住む高齢者を運動会や夕涼み会などの保育所・認定こども園・幼稚園の行事に招待したり、一緒に野菜の苗植えや収穫をすることにより交流を深めます。また、伝承あそびを一緒に楽しんだり、伝統料理を一緒に作るなど、核家族ではなかなかできない体験を味わい、高齢者とのふれあいを深めます。

### 事業実績

公立保育所・こども園・幼稚園では、地域の自然や行事、清掃活動等の様々な活動を通して高齢者との交流を図りました。

- ・世代間交流事業（公立保育所・こども園）

実施施設数	16か所
開催回数	延べ155回
参加人数	延べ12,218人

- ・地域に開かれた幼稚園づくり推進事業（公立幼稚園）

実施施設数	25か所
開催回数	延べ224回
参加人数	延べ13,407人

老人福祉施設等を訪問し、又はこれらの施設や地域のお年寄りを招待し、劇、季節的行事、手作り玩具制作等を通じて世代間のふれあい活動を行う私立保育施設に対して、補助を行いました。

- ・私立保育施設 29か所

### ③ 特別非常勤講師配置事業

#### 事業内容

総合的な学習の時間を中心に、全市立小・中学校を対象にして、高齢者を含む地域人材の活用や、小・中学生を対象にした体験活動の充実を図るために、特別非常勤講師を配置しています。また、小学校のクラブ活動等の授業において、高齢者がゲストティーチャーとして自らの経験や知識を児童に伝える機会や、全市立学校の取組である「ぴかぴかデー」において、地域・保護者とともに取り組む活動について、指導・支援しています。

#### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

		平成27年度	28年度	29年度
延 べ 人 数	小学校(人)	60	60	60
		68		
		113.3%	%	%
	中学校(人)	10	10	10
		12		
		120.0%	%	%

## 計画の目標 安全で住みよい環境づくり

### 重点課題 生活環境の整備推進

#### ア 公共交通機関の充実

高齢化の進行により、移動手段を持たない「交通弱者」の増加が危惧されるため、高齢者の移動の利便性を向上し、外出機会の創出など生きがいや健康づくりに資するとともに、公共交通の利用促進を図るため、公共交通による移動環境の整備に努めます。

#### 主な事業の実施状況

##### ① 高齢者公共交通運賃半額事業

###### 事業内容

平成25年9月に制定した「高松市公共交通利用促進条例」の理念を踏まえた施策として、平成26年10月1日から、市内在住の70歳以上の方が交通系ICカード「ゴールド IruCa」を利用して公共交通の運賃を支払った場合、その運賃が半額となるよう、公共交通事業者に対し、運賃差額を補助します。

###### 事業実績

交通系ICカードを活用し、高齢者の移動支援を行いました。

H27年度 ゴールド I r u C a 発行枚数 3,458枚（累計15,166枚）

ゴールド I r u C a の利用件数 847,455件

##### ② 公共交通機関等のバリアフリー化

###### 事業内容

高齢者等の移動の円滑化を図るため、「香川県福祉のまちづくり条例」及び「高松市交通バリアフリー基本構想」に基づき、鉄道駅・バス車両など公共交通機関や、歩行空間のバリアフリー化を推進します。

###### 事業実績

（上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比）

	平成27年度	28年度	29年度
ノンステップバス導入率（年度末現在）（%）	60.0	65.0	69.0
	61.0		
	101.7%	%	%

## イ ふれあいの場の確保

コミュニティセンター、老人福祉センター等の市施設の他、特別養護老人ホーム等の老人福祉施設における地域交流スペースなどの地域に密着した既存施設を交流・レクリエーションの場として有効活用するとともに、高齢者の生きがいくくりとして、高齢者同士や世代間のふれあいの場の確保に努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① コミュニティセンター

##### 事業内容

コミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンターにおいて、地域住民の交流が活発に行われるよう、敬老会事業やふれあい交流事業など、高齢者同士や世代間のふれあいの場の確保に努めます。

##### 事業実績

コミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンターにおいて、地域住民の交流が活発に行われるよう、敬老会事業やふれあい交流事業など、高齢者同士や世代間のふれあいの場を確保しました。

コミュニティセンター数 平成 27 年度 52 か所

#### ② 老人福祉センター

##### 事業内容

高齢者の各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための施設です。高齢者の健康づくり、生きがいくくりの場として、既存施設の利用促進を図るとともに、高齢者のニーズの多様化や高齢者向け施設の増加などの利用環境の変化に対応した在り方の見直しを行います。

##### 事業実績

施設老朽化に伴い、茶寿荘については、瓦町健康ステーションに機能の大部分を移転し、ふれあい福祉センター勝賀については、総合センターを設置するため改修工事を行いました。

##### ふれあい福祉センター勝賀（高松市香西南町 476 番地 1）

区 分	平成 27 年度
入 浴 (人)	9,953
集 会 室 (人)	10,846
テ ニ ス コ ー ト (人)	3,437
機 能 回 復 訓 練 室 (人)	18,573
図 書 館 ・ 児 童 室 (人)	3,937
娯 楽 室 (人)	1,316

### ③ 老人いこいの家、老人つどいの家、老人つどいの部屋

#### 事業内容

レクリエーション活動を通じて高齢者の心身の健康増進を図るとともに、地域での高齢者の会合等の場を提供するため、老人いこいの家を整備しています。また、老人つどいの家、老人つどいの部屋については、地域の老人クラブ等が高齢者の交流・レクリエーションの場として使用する施設を支援しています。

#### 事業実績

高齢者の健康増進を図るとともに、地域での高齢者の会合等の場を提供しました。

- 老人いこいの家 10 か所
- 老人つどいの家 11 か所
- 老人つどいの部屋 26 か所

### ④ 介護予防拠点施設

#### 事業内容

高齢者等の介護予防及び健康の保持増進に関する事業や在宅生活の支援に関する事業、居宅介護支援の質の向上を図るための事業を行うとともに、地域住民の世代間交流の場を提供しています。

#### 事業実績

H27 年度 香南ふれあい館 延べ利用者数 1,193 人  
香南地域ふれあいセンター 延べ利用者数 347 人

## ウ 老人介護支援センターとの連携等の強化

地域における在宅介護等に関する相談に24時間体制で応じるほか、介護・保健福祉の各種サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整、保健福祉サービスの利用代行申請などを行う施設です。地域福祉の向上のため、平成21(2009)年度から、老人介護支援センターを地域包括支援センターの窓口(ブランチ)として位置付け、住民の利便性を考慮した地域の身近な相談窓口として、地域包括支援センターを始め、様々な機関や団体と連携し協力体制が取れるよう、地域のネットワーク構築を目指します。

### 主な事業の実施状況

#### ① 老人介護支援センター

##### 事業内容

老人介護支援センターの認知度を高めるとともに、多種多様の相談や緊急の相談に対し、適切な助言や関係機関への連絡等の対応ができるよう、職員のスキルアップを図る必要があります。

##### 事業実績

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

	平成27年度	28年度	29年度
老人介護支援センター整備見込量(か所)	28	28	28
	28		
	100.0%	%	%

## エ 災害時の援護体制の充実

地域において避難支援を希望する人の台帳（災害時要援護者台帳）をもとに、要援護者の把握・支援者の選定に努めるとともに、ひとり暮らし高齢者等に対する民生委員 児童委員による実態把握や、緊急通報装置の設置などにより、迅速に対応できるよう努めます。

また、香川県、香川県老人福祉施設協議会及び香川県老人保健施設協議会と引き続き連携し、災害が発生した場合等において、緊急に避難を要する高齢者等を特別養護老人ホーム等で受入れできるよう努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 災害時要援護者台帳の整備

##### 事業内容

災害時に自力で避難することが困難な高齢者などの要援護者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制を構築するため、災害時要援護者台帳を作成し、要援護者情報の把握と共有を図るとともに、平常時から要援護者に対する見守りや声かけを行い、地域における要援護者の支援に努めます。

##### 事業実績

区分	平成27年度
対象者数（人）	3,932
登録希望者（人）	640
登録率（%）	16.3

#### ② ひとり暮らし・寝たきり高齢者の把握

##### 事業内容

各地区において、地区民生委員児童委員の協力のもと、災害時や日常の見守りなどに備えるため、ひとり暮らし・寝たきり高齢者の把握に努めます。

##### 事業実績

H27年度 一人暮らし高齢者 9,596人  
寝たきり高齢者 461人



### ③ 自主防災組織の結成

#### 事業内容

地震、火災、風水害等の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に被害を防止し、軽減し、又は予防するため、地域住民が自主的に結成し、運営する自主防災組織の結成を促進します。

#### 事業実績

H27 年度 組織数 1,504  
世帯数 188,437  
活動カバー率 100%

## オ 市民活動団体との連携等の強化

高齢者のニーズが多様・高度化する中で、地域や個人の実情に合った、きめ細かな高齢者福祉を推進するには、地域で活動している市民活動団体（NPO・ボランティア団体など）の役割が重要です。

「自助・共助・公助」の視点に立ち、市民と行政との協働を更に推進するため、市民活動団体との連携の強化や、市民活動センターによる情報提供、コーディネーター機能の充実を図るとともに、多様な保健福祉活動を企画・実施する人材の育成支援に努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 市民活動センター

##### 事業内容

平成 13(2001)年 1 月に田町商店街に高松市ボランティア・市民活動センターを設置しました。平成 24(2012)年 8 月に四番丁スクエア内に移転し、名称を高松市市民活動センターと改め、市民及び市民活動団体、地域コミュニティ協議会などの社会貢献活動（市民活動）の促進を図り、多様な主体が参画協働するまちづくりの拠点となるよう活動拠点の支援・情報収集・提供学習・研修などを行っています。

##### 事業実績

市民及び市民活動団体、地域コミュニティ協議会などの社会貢献活動（市民活動）の促進を図り、多様な主体が参画協働するまちづくりの拠点となるよう活動拠点の支援・情報収集・提供学習・研修などを行いました。

#### ○高松市市民活動センター利用状況

平成 27 年度 総利用者数 15,213 人

#### ○市民活動センター情報誌発行回数

コラボ 年 4 回発行

ココラボ 年 8 回発行

#### ○ホームページ・フェイスブックによる情報提供 随時

#### ○メールマガジン配信 1ヶ月2回配信

#### ○市民活動センター講座

まちづくり学校 地域チャレンジ塾・みんなの文化祭

捨てずに活かそうネットワーク

ボランティア・NPO・補助金申請相談

活動拠点の整備（瓦町市民活動センター開設10月）

## ② 指導者のためのセミナー

### 事業内容

地域の団体やグループの指導者が講座の開催や団体活動の運営に必要な知識や技術の習得を図るため、市民活動センターとの共催による「指導者のためのセミナー」を開催します

### 事業実績

県が同様の講座「地域支援指導者セミナー」を実施しているため中止しており、コミュニティセンターの生涯学習推進員等に対し、県の講座の受講を促しました。

## カ 福祉意識の醸成・啓発

家庭、学校、地域、行政などの連携のもと、コミュニティセンター等での高齢者教室の実施、小・中学校の「総合的な学習の時間」における高齢者との世代間交流や老人ホームでの介護体験学習など、福祉に関する学習機会の確保に努めます。

また、広報紙や、市政出前ふれあいトークなど様々な広報活動等を通じて、相互扶助の心で高齢者を見守り支え合う福祉意識の醸成・啓発に努めます。

## 主な事業の実施状況

### ① 総合的な学習の時間活性化推進事業

#### 事業内容

全市立小・中学校を対象に、1校当たり9万円を限度として補助するとともに、総合的な学習の時間において、高齢者との世代間交流や老人ホームでの介護体験学習などを計画している学校について、高齢者と児童生徒相互が共に学び合える場、理解を深めることのできる場となるよう指導しています。

#### 事業実績

総合的な学習の時間を活用し、高齢者施設での交流やボランティア活動、高齢者疑似体験の体験を通して、高齢者理解を深め、福祉について学習を深め、今後の社会の在り方について考えました。

H27年度 小学校 48校  
          中学校 23校

## ② 広報紙などの広報活動等を通じた情報提供、意識啓発

### 事業内容

管理職員等が地域へ出向いて市政について説明する「市政出前ふれあいトーク」を実施し、地域の人々とふれあう中で、地域の実情を把握し、市民から出された意見・提言等を市政に反映させます。また、「市長への提言」に寄せられた様々な意見・要望と、これに対する回答、新聞等の報道機関に提供した市政情報をホームページに掲載することにより、福祉意識の啓発に努めます。

さらに、広報紙を始め、ホームページ、テレビ（ケーブルテレビ含む）、FMラジオ、有線放送、ツイッターなどの広報媒体を活用して、市民に対し情報を提供するとともに、福祉意識の醸成・啓発を行います。

### 事業実績

- ・ 広報たかまつ：毎月2回発行（1日号、15日号）
- ・ 点字広報：毎月1回、10日発行
- ・ 声の広報：毎月1回、5日発行
- ・ テレビ（岡山放送）「ワンダフルたかまつ」年間6回放送、15分番組）
- ・ 市政情報番組（ケーブルメディア四国）：「ホットラインたかまつ」「いきいきNAV I」等（概ね1日6回放送、毎月2回更新、HPでも動画配信）
- ・ ラジオ（FM高松）：「げんキッズ」（毎週水曜日放送、10分番組、再放送あり）  
「高松市からのお知らせ」（月曜日～金曜日放送、3分番組、1日3回放送）
- ・ ツイッターによる情報発信（月曜日～金曜日）
- ・ ケーブルテレビデータ放送（随時更新）
- ・ ユーストリームやユーチューブを活用した動画配信（随時）
- ・ 市政出前ふれあいトーク  
実施件数(件)            684(H26)            735(H27)  
参加人数(人)※施設見学含む  
   20, 724(H26)        21, 733(H27)
- ・ 市長提言  
件数(件)                301(H26)            243(H27)

## キ 安全で住みよい環境づくりの推進

ひとり暮らし高齢者等の火災防止のため、住宅防火診断を実施し、住宅用火災警報器の設置を促進するとともに、自治会、老人クラブ、高齢者福祉施設等において、防火・防災に関する講話や訓練を実施し、防火・防災意識の啓発に努めます。

高齢者の消費者被害防止のため、関係機関等と連携する中で、消費生活出前講座などを通じた広報啓発・情報提供活動等の推進に努めます。

また、高齢者の交通事故防止のため、高齢者交通安全教室・シルバードライバースクール等の開催や夜間の交通事故防止に役立つ反射材の使用促進により、交通安全意識の啓発と交通マナーの向上に努めます。

### 主な事業の実施状況

#### ① 住宅防火診断

##### 事業内容

ひとり暮らし高齢者等の火災防止のため、住宅防火診断を実施し、住宅用火災警報器の設置を促進するとともに、自治会、老人クラブ、高齢者福祉施設等において、防火・防災に関する講話や訓練を実施し、防火・防災意識の啓発に努めます。

##### 事業実績

ひとり暮らし高齢者の火災防止のため、住宅防火診断を実施しました。

防火診断実施件数 215 件

#### ② 高齢者の消費者被害防止

##### 事業内容

高齢者の消費者被害防止のため、関係機関等と連携する中で、消費生活出前講座などを通じた広報啓発・情報提供活動等の推進に努めます。

##### 事業実績

高齢者の消費者被害防止のため、関係機関と連携する中で、消費生活出前講座などを通じた広報啓発・情報提供活動等の推進に努めました。

平成27年度 消費生活出前講座開催回数 24回

### ③ 高齢者の交通安全対策

#### 事業内容

高齢者の交通事故防止のため、高齢者交通安全教室・シルバードライバーズスクール等の開催や夜間の交通事故防止に役立つ反射材の使用促進により、交通安全意識の啓発と交通マナーの向上に努めます。

#### 事業実績

高齢者の交通事故防止のため、高齢者交通安全教室・シルバードライバーズスクール等の開催や、夜間の交通事故防止に役立つ反射材の使用促進のための体験教室などにより、交通安全意識の啓発と交通マナーの向上に努めました。

区 分		27 年度
高松市交通安全高齢者自転車大会	参加者数(人)	60
反 射 材 効 果 体 験 教 室	開催回数(回)	2
	参加者数(人)	75
	(高齢者以外も含む)	
シルバードライバーズスクール	参加者数(人)	16
高齢者交通指導員研修会	参加者数(人)	34
高 齢 者 交 通 安 全 教 室	開催回数(回)	7
	参加者数(人)	1,030

# 6 介護保険事業の取組

## ア 要介護（要支援）認定者数・認知症日常生活自立度Ⅱ以上の認定者数の推移

【要介護（要支援）認定者数の推移】

(単位:人)

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度
第1号認定者数	20,793	21,791	22,575	23,424
要支援1	1,840	2,065	2,121	2,277
要支援2	3,209	3,517	3,708	3,776
要介護1	4,027	4,448	4,707	5,011
要介護2	4,336	4,351	4,501	4,630
要介護3	3,037	2,998	3,071	3,145
要介護4	2,116	2,198	2,236	2,370
要介護5	2,228	2,214	2,231	2,215

認定率※1 (%)	20.9	21.0	20.9	21.1
-----------	------	------	------	------

第2号認定者数	593	536	516	496
要支援1	32	32	30	35
要支援2	50	63	69	54
要介護1	86	73	75	88
要介護2	192	171	156	124
要介護3	82	80	69	77
要介護4	60	49	48	61
要介護5	91	68	69	57

認定者数合計	21,386	22,327	23,091	23,920
認定率※2 (%)	21.5	21.5	21.4	21.6
認知症日常生活自立度Ⅱ以上の認定者数	11,412	11,859	12,464	12,880

※1 第1号被保険者の中に占める第1号認定者数の割合

※2 第1号被保険者の中に占める認定者数合計(第1号認定者数+第2号認定者数)の割合

## イ 介護保険サービス量の推移

### (1) 施設・居住系サービス利用者数の推移

#### 【施設・居住系サービス利用者数の推移】

(単位:人)

区 分	平成 24年度	25年度	26年度	27年度
要介護認定者※1 数	12,142	12,129	12,381	12,679
施設利用者※2 の割合 (%)	29.1	29.5	29.2	28.8
介護保険 3 施設の利用者数	2,672	2,716	2,749	2,781
介護老人福祉施設	1,441	1,480	1,502	1,552
介護老人保健施設	1,051	1,072	1,088	1,074
介護療養型医療施設	180	164	159	155
重度利用者※3 の割合 (%)	60.4	59.7	59.1	59.7
介護保険 3 施設利用者の うち、要介護 4・5 の利用者	1,615	1,622	1,624	1,661
居住系サービス利用者数	858	860	864	873
認知症対応型共同 生活介護※4	813	815	819	828
介護専用型特定施設	45	45	45	45

※1 ここていう要介護認定者は、要介護 2～5 の認定者

※2 ここていう施設利用者は、※1 要介護認定者のうち、介護保険 3 施設の利用者と居住系サービス利用者の合計

※3 ここていう重度利用者は、介護保険 3 施設の利用者のうち、要介護 4・5 の利用者

※4 要支援者の利用者数を除く  
平成 24～27 年度は各月平均値

#### 【認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護利用者数】

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成 27 年度	28 年度	29 年度	37 年度
認知症対応型共同生活介護	867	873	927	1,053
	829			
	95.6%			
特定施設入居者生活介護	706	707	709	767
	731			
	103.5%			



### 【施設サービス量】

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

区 分	平成 27 年度	28 年度	29 年度	37 年度
介護老人福祉施設	1,647	1,647	1,697	1,817
	<b>1,561</b>			
	94.8%			
介護老人保健施設	1,122	1,210	1,331	1,435
	<b>1,085</b>			
	96.7%			
介護療養型医療施設	163	163	163	163
	<b>156</b>			
	95.7%			

### (2) 居宅サービス利用者数の推移

#### 【居宅サービス利用者数の推移】

(単位：人、(%))

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
平成 24 年度	1,191	2,401	3,206	3,598	2,142	1,200	1,001	14,739
	(8.1)	(16.3)	(21.8)	(24.4)	(14.5)	(8.1)	(6.8)	(100.0)
25 年度	1,286	2,556	3,507	3,662	2,122	1,235	1,025	15,393
	(8.3)	(16.6)	(22.8)	(23.8)	(13.8)	(8.0)	(6.7)	(100.0)
26 年度	1,301	2,722	3,735	3,762	2,182	1,281	1,095	16,078
	(8.1)	(16.9)	(23.2)	(23.4)	(13.6)	(8.0)	(6.8)	(100.0)
27 年度	1,336	2,771	3,995	3,890	2,244	1,335	1,120	16,691
	(8.0)	(16.6)	(23.9)	(23.3)	(13.5)	(8.0)	(6.7)	(100.0)

※平成 24～27 年度は各月平均値

### (3) 圏域別地域密着型サービス利用者数等の推計

#### 【地域密着型サービス利用者数等の推移】

(単位：人)

区 分	平成 24年度	25年度	26年度	27年度
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	-	-	7	16
夜間対応型訪問介護	181	148	157	177
認知症対応型通所介護	276	274	256	230
小規模多機能型居宅介護	261	260	265	273
認知症対応型共同生活介護	814	817	820	829
地域密着型特定施設 入居者生活介護	-	-	-	7
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	-	-	-	-
看護小規模多機能型 居宅介護	-	6	25	30
地域密着型通所介護	-	-	-	-

※平成24～27年度は各月平均値

### 【圏域別地域密着型サービス利用者】

(上段：計画値、下段：実績値)

サービスの種類	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			夜間対応型訪問介護			
	平成27年度	28年度	29年度	平成27年度	28年度	29年度	
日常生活圏域	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	
①中央西	0 1	0	⑬勝賀・ 下笠居と ⑭国分寺 以外の圏域 で27	24 27	24	24	
②中央東	0 0	0		22 30	22	22	
③鶴尾	0 0	0		5 5	6	6	
④太田	0 0	0		25 30	26	25	
⑤一宮	0 0	0		2 2	2	2	
⑥香東	0 0	0		2 1	2	2	
⑦木太	0 0	0		9 10	9	9	
⑧古高松	0 0	0		1 4	1	1	
⑨屋島	0 0	0		1 2	1	1	
⑩協和	0 0	0		19 17	19	19	
⑪龍雲	0 2	0		30 32	31	31	
⑫山田	0 0	0		2 3	2	2	
⑬勝賀・下笠居	22 8	48		50	3 3	3	3
⑭塩江	0 0	0	⑬勝賀・ 下笠居と ⑭国分寺 以外の圏域 で27	1 1	1	1	
⑮香川	0 1	0		0 3	0	0	
⑯香南	0 0	0		0 1	0	0	
⑰牟礼	0 0	0		1 1	1	1	
⑱庵治	0 0	0		2 2	2	2	
⑲国分寺	3 4	40		50	1 3	1	1
合計	25 16	88		127	149 177	152	151

(上段：計画値、下段：実績値)

サービスの種類	認知症対応型通所介護					
	平成 27 年度		28 年度		29 年度	
日常生活圏域	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)
①中央西	406	37	460	42	511	46
	<b>342</b>	<b>28</b>				
②中央東	274	25	273	25	323	29
	<b>190</b>	<b>19</b>				
③鶴尾	142	13	154	14	178	16
	<b>58</b>	<b>6</b>				
④太田	197	18	230	21	256	23
	<b>223</b>	<b>18</b>				
⑤一宮	55	5	66	6	78	7
	<b>92</b>	<b>5</b>				
⑥香東	164	15	176	16	200	18
	<b>71</b>	<b>6</b>				
⑦木太	230	21	252	23	300	27
	<b>153</b>	<b>13</b>				
⑧古高松	164	15	176	16	211	19
	<b>136</b>	<b>12</b>				
⑨屋島	120	11	132	12	145	13
	<b>131</b>	<b>9</b>				
⑩協和	175	16	198	18	234	21
	<b>180</b>	<b>16</b>				
⑪龍雲	263	24	296	27	345	31
	<b>279</b>	<b>24</b>				
⑫山田	99	9	110	10	134	12
	<b>77</b>	<b>8</b>				
⑬勝賀・下笠居	438	40	494	45	568	51
	<b>359</b>	<b>30</b>				
⑭塩江	0	0	0	0	0	0
	<b>0</b>	<b>0</b>				
⑮香川	186	17	209	19	245	22
	<b>148</b>	<b>14</b>				
⑯香南	22	2	33	3	33	3
	<b>35</b>	<b>3</b>				
⑰牟礼	44	4	55	5	56	5
	<b>39</b>	<b>5</b>				
⑱庵治	11	1	22	2	22	2
	<b>0</b>	<b>0</b>				
⑲国分寺	186	17	209	19	245	22
	<b>158</b>	<b>14</b>				
合 計	3,176	290	3,545	323	4,084	367
	<b>2,671</b>	<b>230</b>				

(上段：計画値、下段：実績値)

サービスの種類	小規模多機能型居宅介護			認知症対応型共同生活介護		
	平成27年度	28年度	29年度	平成27年度	28年度	29年度
日常生活圏域	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)
①中央西	26 19	26	29	87 78	87	92
②中央東	46 33	47	51	94 97	93	99
③鶴尾	17 16	18	18	19 15	19	21
④太田	14 12	14	15	61 54	60	65
⑤一宮	12 11	13	14	34 31	34	37
⑥香東	30 23	32	33	52 49	54	56
⑦木太	21 17	22	23	48 39	48	51
⑧古高松	10 9	11	11	40 42	40	42
⑨屋島	19 22	20	21	33 33	33	35
⑩協和	17 18	18	18	45 51	45	48
⑪龍雲	5 18	5	5	77 74	77	82
⑫山田	15 16	15	16	50 42	51	54
⑬勝賀・下笠居	25 21	26	27	65 50	68	70
⑭塩江	1 1	1	1	13 10	13	14
⑮香川	19 11	20	21	46 57	46	49
⑯香南	1 0	1	1	21 21	22	23
⑰牟礼	5 10	5	5	27 28	27	29
⑱庵治	0 2	0	0	19 14	19	21
⑲国分寺	12 14	13	14	36 44	37	39
合計	295 273	307	323	867 829	873	927

(上段：計画値、下段：実績値)

サービスの種類	地域密着型通所介護					
	平成 27 年度		28 年度		29 年度	
日常生活圏域	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)	利用回数 (回/月)	利用者 (人/月)
①中央西			1,916	189	2,031	196
②中央東			4,501	397	4,770	460
③鶴尾			642	56	681	65
④太田			2,939	302	3,115	300
⑤一宮			958	75	1,016	98
⑥香東			1,054	75	1,117	108
⑦木太			1,885	189	1,997	192
⑧古高松			1,757	151	1,862	179
⑨屋島			639	75	677	65
⑩協和			3,833	415	4,063	391
⑪龍雲			2,587	302	2,742	264
⑫山田			447	38	474	46
⑬勝賀・下笠居			2,555	264	2,708	261
⑭塩江			479	38	508	49
⑮香川			958	113	1,016	98
⑯香南			447	38	474	46
⑰牟礼			1,712	152	1,815	175
⑱庵治			428	35	453	43
⑲国分寺			639	75	677	65
合 計	0	0	30,376	2,979	32,196	3,101

(上段：計画値、下段：実績値)

サービスの種類	看護小規模多機能型居宅介護		
	平成 27 年度	28 年度	29 年度
日常生活圏域	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)	利用者 (人/月)
①中央西	4 6	8	12
②中央東	9 11	16	21
③鶴尾	0 0	0	1
④太田	1 1	1	2
⑤一宮	1 1	1	2
⑥香東	1 1	2	3
⑦木太	3 4	5	7
⑧古高松	3 1	5	7
⑨屋島	1 1	1	2
⑩協和	0 0	0	0
⑪龍雲	1 1	2	3
⑫山田	0 0	0	0
⑬勝賀・下笠居	2 3	3	4
⑭塩江	0 0	0	0
⑮香川	2 0	4	6
⑯香南	0 0	0	1
⑰牟礼	0 0	0	1
⑱庵治	0 0	0	2
⑲国分寺	0 0	0	0
合 計	28 30	48	74

## ウ 計画期間の事業費

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)

(単位：千円)

区分		平成 27 年度	28 年度	29 年度
在宅サービス	訪問介護	3,097,971	3,139,297	3,142,889
		<b>3,284,569</b>		
		106.0%		
	訪問入浴介護	147,245	152,541	152,117
		<b>123,419</b>		
		83.8%		
	訪問看護	337,248	402,302	453,577
		<b>436,773</b>		
		129.5%		
	訪問リハビリテーション	95,715	107,890	119,859
		<b>100,589</b>		
		105.1%		
	居宅療養管理指導	228,272	250,787	280,220
		<b>253,725</b>		
		111.2%		
	通所介護	6,608,832	3,815,515	3,420,406
		<b>6,583,926</b>		
		99.6%		
通所リハビリテーション	2,063,266	2,107,719	2,190,465	
	<b>1,922,883</b>			
	93.2%			
短期入所生活介護	2,359,186	2,650,867	2,740,477	
	<b>2,604,103</b>			
	110.4%			
短期入所療養介護	54,435	43,431	37,595	
	<b>87,358</b>			
	160.5%			
特定施設入居者生活介護	1,587,951	1,585,896	1,591,173	
	<b>1,616,091</b>			
	101.8%			
福祉用具貸与	946,642	971,154	988,099	
	<b>1,036,991</b>			
	109.5%			
特定福祉用具販売	55,133	57,954	60,327	
	<b>53,891</b>			
	97.7%			
住宅改修	124,296	131,677	140,624	
	<b>146,251</b>			
	117.7%			
居宅介護支援	1,922,052	1,910,503	1,886,454	
	<b>2,075,686</b>			
	108.0%			
小計	19,628,244	17,327,533	17,204,282	
	<b>20,326,255</b>			
	103.6%			



(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)  
(単位：千円)

区 分		平成 27 年度	28 年度	29 年度
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	54,168	181,604	294,929
		<b>26,712</b>		
		49.3%		
	夜間対応型訪問介護	294,845	301,779	311,008
		<b>326,129</b>		
		110.6%		
	認知症対応型通所介護	378,510	418,337	479,878
		<b>324,033</b>		
		85.6%		
	小規模多機能型居宅介護	618,789	637,347	663,704
		<b>610,097</b>		
		98.6%		
認知症対応型共同生活介護	2,470,804	2,478,674	2,632,132	
	<b>2,398,078</b>			
	97.1%			
地域密着型特定施設入居者生活介護	29,398	29,341	29,341	
	<b>14,073</b>			
	47.9%			
看護小規模多機能型居宅介護	78,350	128,492	201,035	
	<b>91,549</b>			
	116.8%			
地域密着型通所介護	-	2,760,376	2,913,679	
	<b>0</b>			
	%			
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	-	-	-	
	<b>0</b>			
	%			
施設サービス	小 計	3,924,864	6,935,950	7,525,706
		<b>3,790,671</b>		
		96.6%		
	介護老人福祉施設	4,825,674	4,817,079	4,970,743
		<b>4,522,686</b>		
		93.7%		
	介護老人保健施設	3,456,098	3,709,290	4,085,364
		<b>3,348,406</b>		
		96.9%		
	介護療養型医療施設	604,009	602,792	602,792
		<b>612,695</b>		
		101.4%		
小 計	8,885,781	9,129,161	9,658,899	
	<b>8,483,787</b>			
	95.5%			

(上段：計画値、中段：実績値、下段：計画比)  
(単位：千円)

区 分	平成 27 年度	28 年度	29 年度
医療療養型医療施設からの転換分	-	-	-
	0		
	%		
特定入所者介護サービス等給付費	1,000,888	959,477	975,787
	1,096,986		
	109.6%		
高額介護サービス費	679,126	694,458	714,151
	748,345		
	110.2%		
審査支払手数料	52,227	53,909	55,394
	49,740		
	95.2%		
給 付 費 合 計	34,171,130	35,100,488	36,134,219
	34,495,784		
	101.0%		
地 域 支 援 事 業 費	783,525	2,200,117	2,789,939
	605,387		
	77.3%		
総 事 業 費	34,954,655	37,300,605	38,924,158
	35,101,171		
	100.4%		

### 【地域支援事業の事業費】

(左欄：計画値、右欄：実績値)

(単位：千円)

区 分		平成 27 年度	28 年度	29 年度
介護予防事業	介護予防二次予防事業対象者施策	126,458		
	二次予防事業対象者把握事業	31,511		
	通所型介護予防事業	89,597		
	訪問型介護予防事業	2,098		
	二次予防事業評価事業	3,251		
	介護予防一次予防事業対象者施策	59,927		
	介護予防普及啓発事業	44,984		
	地域介護予防活動支援事業	14,942		
	一次予防事業評価事業	0		
	総合事業費精算金	0		
	小 計	278,275	186,383	114,288
		67.0%		
介護予防・生活支援サービス事業	サービス事業	—		
	訪問型サービス	—		
	通所型サービス	—		
	生活支援サービス	—		
	介護予防ケアマネジメント事業	—		
	小 計	—	—	1,393,800
一般介護予防事業	介護予防把握事業	—		
	介護予防普及啓発事業	—		
	地域介護予防活動支援事業	—		
	一般介護予防事業評価事業	—		
	地域リハビリテーション活動支援事業	—		
	小 計	—	—	163,848

(左欄：計画値、右欄：実績値)  
(単位：千円)

区 分		平成 27 年度		28 年度		29 年度	
包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント事業						
	総合相談支援・権利擁護事業		342,535				
	包括的・継続的 ケアマネジメント事業						
	地域ケア会議推進事業		313				
	医療介護連携事業		1,000				
	認知症ケア推進事業		2,829				
	生活支援・介護予防サービス提供 体制構築事業		14,211				
	小 計	434,769	360,888	447,760		478,222	
		83.0%					
任意事業	介護給付等費用適正化事業		19,121				
	家族介護支援事業		6,403				
	認知症高齢者見守り事業		1,830				
	認知症高齢者 家族支援サービス事業		4,573				
	そ の 他 事 業		577				
	成年後見制度利用支援事業		497				
	住宅改修支援事業		80				
	地域自立生活支援事業 (高齢者住宅等安心確保事業 高齢者居場所づくり事業 高齢者見守り事業 介護相談員派遣等事業)		32,015				
	小 計	70,481	58,116	80,421		84,262	
			82.5%				
A 介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防事業を含む)	278,275	186,383	1,671,936		2,227,455		
		67.0%					
B 包括的支援事業・任意事業	505,250	419,004	528,181		562,484		
		82.9%					
地域支援事業合計(A+B)	783,525	605,387	2,200,117		2,789,939		
		77.3%					